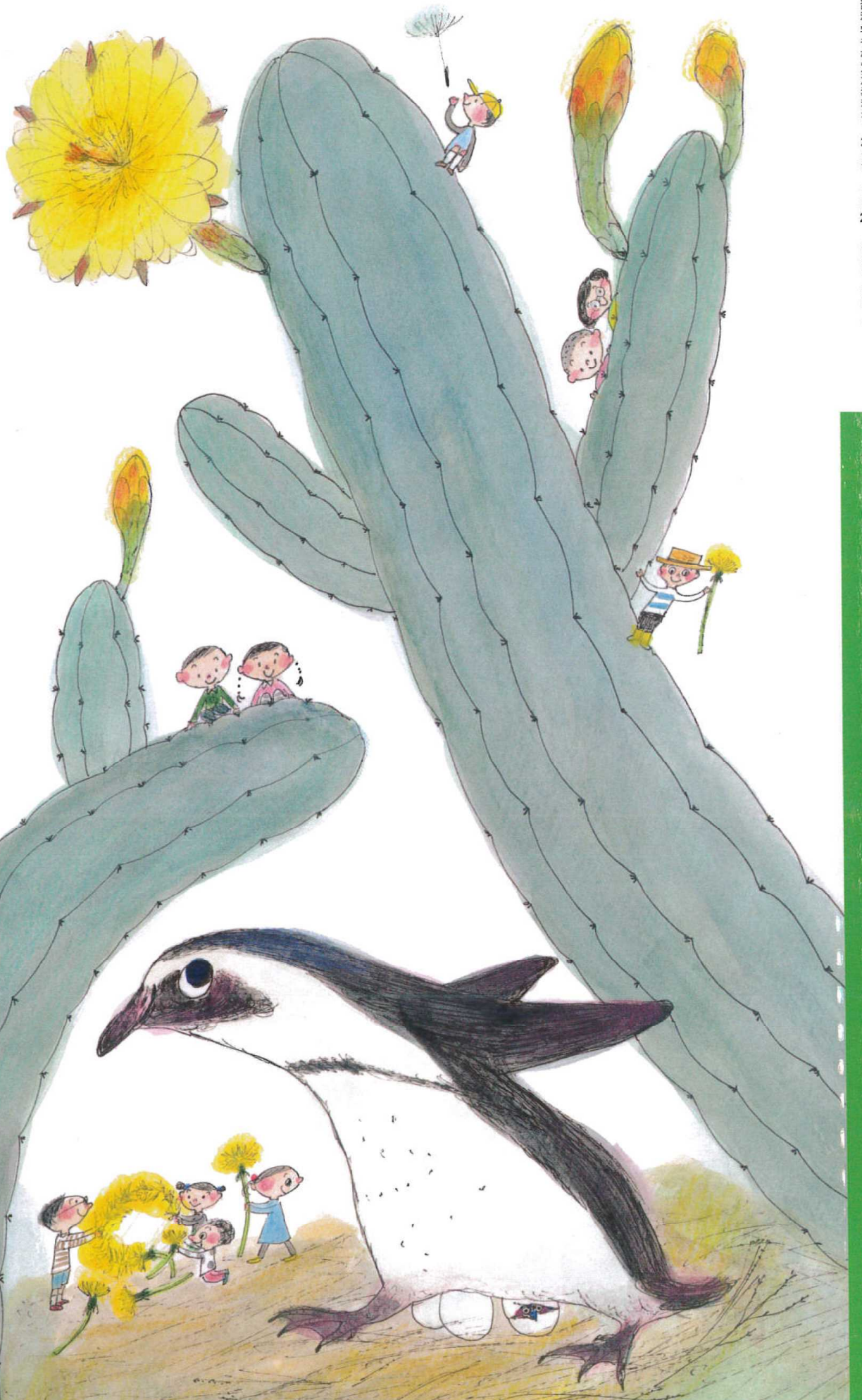


# いんげん(豆) 二上

たんぽぽ



光村図書



この本で がくしゅうする みなさんへ  
 この本では、つぎの しるしが つかわれて います。



話したり 聞いたり しましょう。



書きましょう。



読みましょう。



ことばの がくしゅうを しましょう。



大切な ことです。おぼえたり、たしかめたり しましょう。



国語の がくしゅうで よく つかわれる ことばです。



がくしゅうを する ときに 気を つける ことなどを 書いて います。



聞いて、がくしゅうする ところです。



がくしゅうを する ときに 見ると よい ページを 書いて います。

文字や ことばの しるし

○ 新しく がくしゅうする

かん字。

● 読み方が 新しい かん字。

▲ 新しく がくしゅうする かん字。



この しるしが ある ところ には、がくしゅうの たすけとなる しりょうが あります。読みとる ときには、かならず、先生や おうちの 方と いっしょに 行いましょう。



くぐぐぐ  
二上 たんぽぽ



「たんぽぽさんって、

まぶしいのね。

ひまわりさんの 子で、

お日さまの まごだから。」

と、ちようちようが きいた。

たんぽぽは、

うふんと わらった。

もくじ

二年生の こくごの まなびを 見たそう

じゅんばんに ならぼう 話す・聞く 4

つづけて みよう 12

①おはなしを 読み、やくに わかれて 音読しよう 読む

ふきのとう くどう なおこ 13

本はともだち 図書館たんけん 28

きょうの できごと 書く 32

ともだちを さがそう 話す・聞く 34

②いなばの 白うさぎ なかがわりえこ 38

②じゅんじよに 気を つけて 読もう 読む

たんぽぽの ちえ うえむらとしお 41

読 じょうほうじゅんじよ

かんさつ名人に なるろう 書く 52

ことば 同じ ぶぶんを もつ かん字

ことば うれしい ことば 60







③ お話を 読んで、しようかいしよう **読む**  
 スイミー レオリレオニさく たにかわしゅんたろうやく…………… 63



◆ じょうほうメモをとる **とき**…………… 78  
 こんな **もの、見つけたよ** **書く**…………… 80

コラム丸、点、かぎ…………… 85



あったらいいな、こんなもの **話す・聞く**…………… 86

本はともだち

お気に入りの本をしようかいしよう…………… 92

ミリーのすてきなぼうし **きたむらさとし**…………… 97



雨のうた **つるみまさお** **読む**…………… 110

② ことばでみちあんない **話す・聞く**…………… 112



④ 読んで考えたことを **話そう** **読む**  
 どうぶつ園のじゅうい **うえだみや**…………… 115

ことば **ことばあそびをしよう**…………… 127

ことば **なかまのことばとかん字**…………… 130

きせつの **ことば** 春 30 夏 90

かん字の **ひろば** ① 62 ② 114 ③ 132  
 かたかなの **ひろば**…………… 77

ひろく **かくしゅうを広げよう**

「たいせつ」のまとめ…………… 134

知りたいこと **見つけ方**、**しらべ方**…………… 138

ひらがなとかたかな **本のせかいを広げよう**…………… 140

いなばの **白うさぎ**…………… 144

これまでに **ならった** **かん字**…………… 148

この **本で** **ならう** **かん字**…………… 150

ことばの **たからばこ**…………… 153



二年生の

# こくごのまなびを 見わたそう

がくしゅうの  
すすめかた

はじめに

「なにを するのかな。」  
「やって みたい。」  
「どうしてかな。」



よむ

かく

はなす・きく



ふりかえる

「わかった。」「できた。」  
「まだ よく わからない。」  
「——と いう ことばを  
はじめて した。」



がくしゅうや せいかつに いかす

「こんどは、こう して  
みよう。」  
「この ことばを つかって  
みたい。」



これから、こくごの がくしゅうが  
はじまります。

がくしゅうの すすめかたと、二年生で  
まなぶ ことを たしかめましょう。





# 二年生で がくしゅうする じゆんばんに

二年生で まなぶ ことを たしかめたり、  
がくしゅうした ことを ふりかえったり  
する ときに つかいましょう。

はなす・きく 

じゆんばんに ならぼう…………… 10

ともだちを さがそう…………… 34

**メモ**  
 だいじな ことを おとさずに、話したり  
 聞いたり する

あつたらいいな、こんなもの…………… 86

**しつもん**  
 ずっとしつもんをして、あいての考えをひき出す

ことばでみちあんない…………… 112

**わだい**  
 そうだんにのってください  
 考えを出し合い、話し合う  
 楽しかったよ、二年生  
 つたえたいことをきめて、  
 はっぴようする

かく 

きょうの できごと…………… 32

**日記に書くこと**

かんさつ名人に なるう…………… 52

かんさつした ことを 書く

こんな もの、見つけたよ…………… 80

組み立てを 考えて 書く

**組み立て**



下

おもちゃの作り方をせつめいしよう

じゆんじよが分かるように書く

お話のさくしやになろう

お話を書くとき

見たこと、かんじたこと

詩に書くことを見つける

すてきなところをつたえよう

読む人に分かりやすい文しように書く

**できごと**

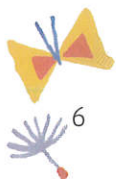
## 一年生の まなびを たしかめよう

- みんなに、きこえる こえて、はっきりと はなす。
- つぎの ことを かんがえながら、ともだちの はなしを きく。
- おもしろい ところ。
- おどろいた こと。
- もっと しりたい こと。

- ともだちの はなしを たしかめたり、わからない ことを きいたり する。

## 一年生の まなびを たしかめよう

- 字を、正しく かく。
- 文の おわりに、まる(○)をつける。
- よみやすいように、てん(こ)をつける。
- 「は」「を」「へ」を、正しく つかう。
- せつめいの じゆんに 気をつけて、わかりやすく かく。
- 文しようにを かいしたら、まちがいが ないか よみかえす。
- ともだちの 文しようにを よんで、おもった ことや わかった ことを つたえる。



せつめいする 文しょう

たんぽぽの ちえ

せつめいする 文しょうを 読む

どうぶつ園のじゅうい

読んで、考えをもつ



ひつしゃ

115

41

下

馬のおもちの作り方

せつめいのしかたに 気をつけて読む

おにごっこ

だいじなことはや文を見つける

おはなし・し

ふきのとう

おはなしを たしかめる

どうじょうじんぶつ

13

スイミー

あらすじを まとめる

あらすじ

63

雨のうた

110



下

お手紙

じんぶつがしたことや ようすを思い

うかべる

わたしはおねえさん

じんぶつと自分を くらべて読む

ねこのこ／おとのはなびら／

はんたいことば

スーホの白い馬 読んで、かんじたことをつたえ合う

一年生の まなびを たしかめよう

●だいじな ことばを たしかめながら よむ。

●せつめいの じゅんに 気をつけて よむ。

●くらべて よむと、なにが ちがうのかが よく わかる。



一年生の まなびを たしかめよう

●おはなしには、いくつかの まとまりがある。

●おはなしを よむ ときは、だれが なにを いったり したり したかに、きをつけて。

●おはなしに 出て くる 人が、した ことや いった ことを おもいうかべながら、よむ。

●かんじた ことを ともだちはなすと、おはなしを もっと たのしめる。



10

5

5



ことばの つかいかた

同じ ぶぶんを もつ かん字 ……	58
うれしい ことば ……	60
丸、点、かぎ ……	85
なかまのことばとかん字 ……	130
かん字の ひろば ① ……	62
② ……	114
③ ……	132
かたかなの ひろば ……	77

下

主語と述語に 気をつけよう	
かん字の読み方	
かたかなで書くことば	
にたいみのことば、	
はんたいのいみのことば	
ようすをあらわすことば	
カンジーはかせの 大はつめい	
かん字の広場 ④・⑤	

じょうほう

じゅんじょ ……	51
メモをとる とき ……	78

下

本でのしらべ方


うけつがれる ことば

聞いて たのしもう	
——いなばの 白うさぎ ……	38
ことばあそびをしよう ……	127
きせつの ことば 春 ……	30
夏 ……	90

下

聞いて楽しもう	
——せかい一の話	
ことばを楽しもう	
きせつのことば 秋・冬	

どくしよ

図書館たんけん ……	28
お気に入りの本を	
しょうかいしよう ……	92
 本をしょうかいする	
ミリーのすてきなぼうし ……	97





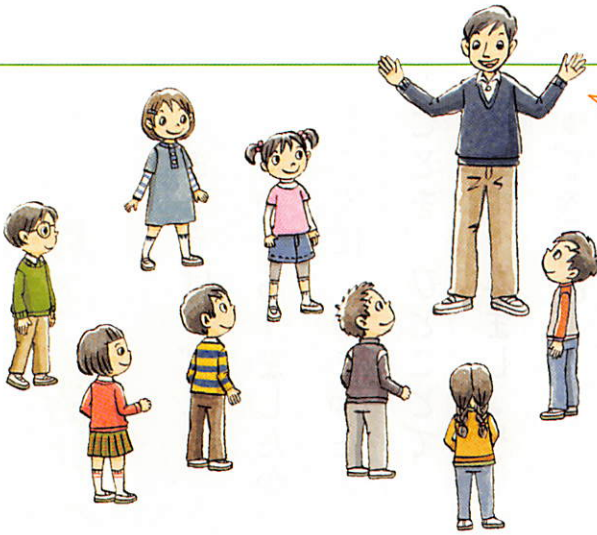
ことばの じゅんびうごう

# じゅんばんに ならぼう

みんなで こえを かけあって、  
じゅんばんに ならびましょう。



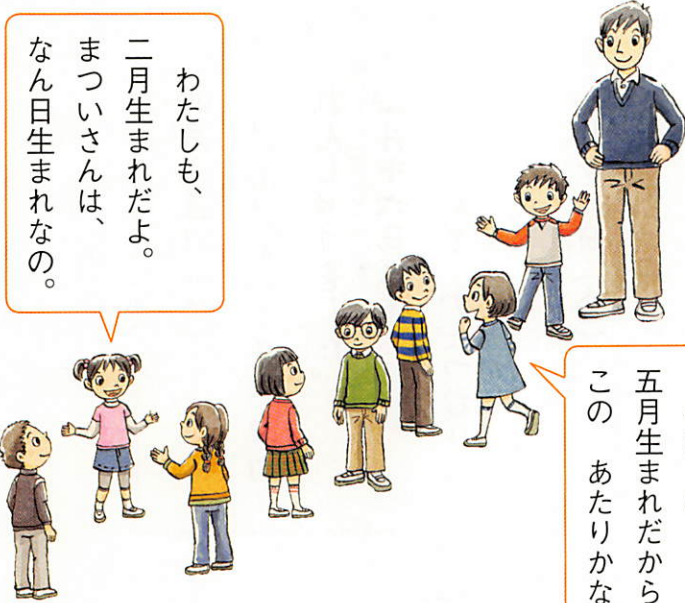




先生の まえに、  
「たんじょう日」が 早い 人から  
じゅんばんに ならびましょう。

1 先生の はなしを  
よく きこう。

わたしも、  
二月生まれだよ。  
まついさんは、  
なん日生まれなの。



わたしは、  
五月生まれだから、  
この あたりかな。

2 こえを かけあって、  
ならぼう。

3 正しい じゅんばんに  
ならべたか、たしかめよう。

- なんの じゅんばんに  
ならぶのかを、よく きく。
- みんなで こえを  
かけあって、じぶんの  
ばしよを 見つける。

もつと たのしもう

- いろいろな じゅんばんに  
ならぶ。
- あさ、おきた じかんが  
早い(おそい) じゅん
- 名まえの あいうえおじゅん  
こえを 出さないで、手の  
うごきなどを つかって  
ならぶ。

どんな ふうに こえを  
かけあいましたか。

# つづけて みよう

きょうは どんな

ことが ありましたか。

こころに のこった

ことを、ひとことで

かいて みましょう。

● できごと

● 見つけた もの

みんなに しらせても

いいですね。

5

四月十五日(水)

けんばんハーモニカの

れんしゅうをした。

四月十六日(木)

花だんで、かたつむりを

見つけた。

四月十七日(金)

きゅうしょくとうばんで、

カレーをついだ。

5







読む

おはなしを 読み、  
やくに わかれて 音読しよう

# ふきのとう

1

「ふきのとう」は、はるを まつ  
おはなしです。だれが 出て きて、  
どんな ことが おこるのでしょうか。

これまでの がくしゅう



一年生の まなびを たしかめよう  
(おはなし・し).....

8 ページ





# ふきのとう

くどう なおこ さく

ひらおか ひとみ え



よが あけました。

あさの ひかりを あびて、  
竹やぶの 竹の はっぱが、

「さむかったね。」

「うん、さむかったね。」

と ささやいて います。

雪が まだ すこし のこって、

あたりは しんと して います。

5

○雪 ゆき    •音 おん 読 どく  
○読 よ む

どこかで、小さな こえが しました。

「よいしょ、よいしょ。おもたいな。」

竹やぶの そばの ふきのとうです。

雪の 下に あたまを 出して、

雪を どけようと、ふんばって いる ところです。

「よいしょ、よいしょ。そとが 見たいな。」

「ごめんね。」

と、雪が 言いました。

「わたしも、早く とけて

10

。言う



水になり、とおくへ 行って

あそびたいけど。」

と、上を見上げます。

「竹やぶの かげに なって、

お日さまが あたらぬ。」

と ざんねんそうです。

5

—  
。行く



お日さまに おこされて、

はるかぜは、大きな あくび。

それから、せのびして 言いました。

「や、お日さま。や、みんな。おまちどお。」

はるかぜは、おね いっぱいに いきを すい、

ふうっと いきを はきました。

はるかぜに ふかれて、

竹やぶが、ゆれる ゆれる、おどる。

雪が、とける とける、水に なる。



ふきのとうが、ふんばる、せがのびる。

ふかれて、

ゆれて、

とけて、

ふんばって、

—— もっこり。

5





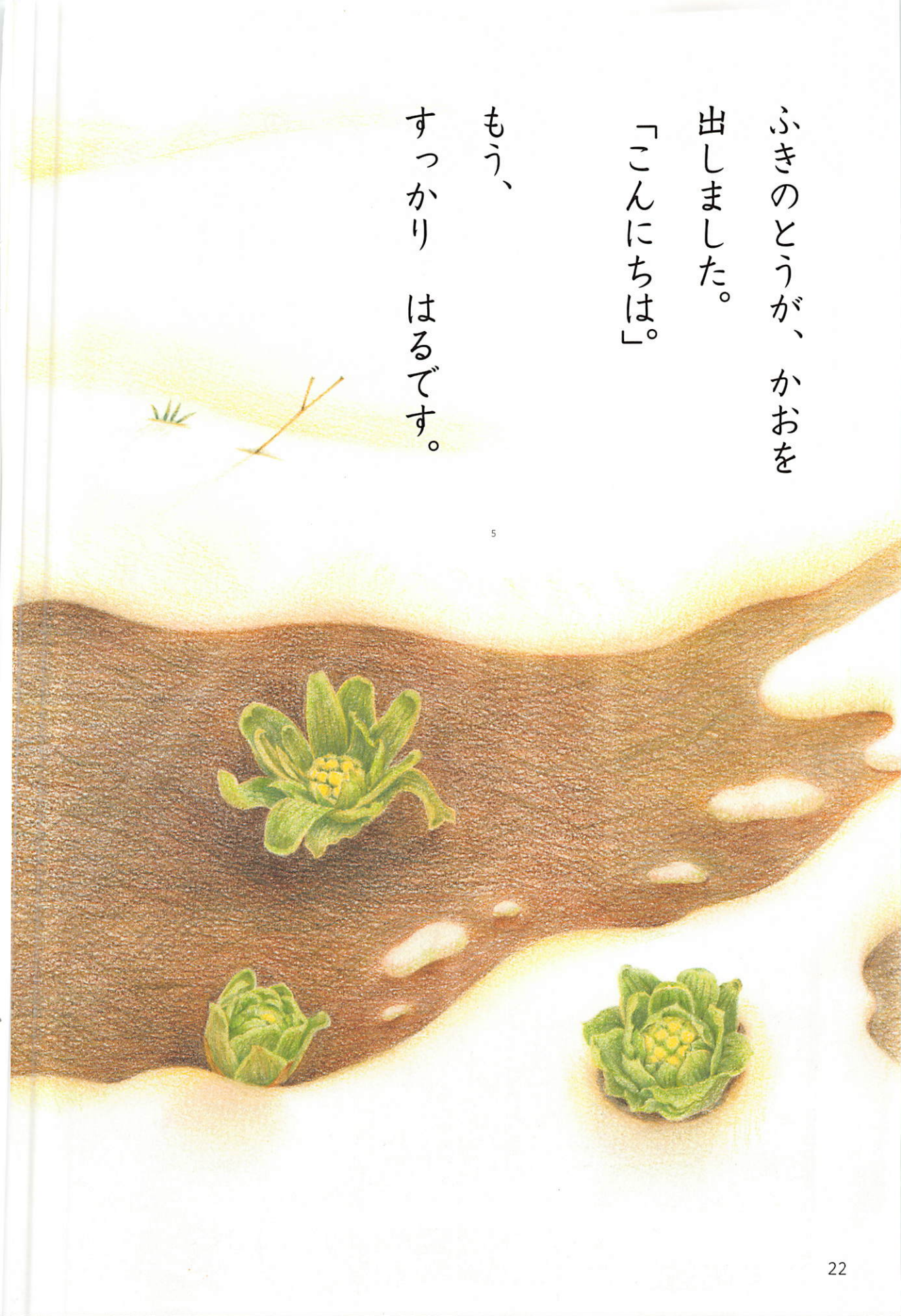
ふきのとうが、  
かおを  
出しました。

「こんにちは。」

もう、

すっかり  
はるです。

5





くどなおおきさんは、「こぶたはなこさん  
のおべんとう」「かぜのこもりうた」なども  
かいて います。





見とおしをもとう

おはなしを 読み、やくに わかれて 音読しよう

- おはなしの ようすが よく わかるように、音読しましょう。
- だれが どう したのかを たしかめましょう。

とうじょう  
じんぶつ  
(じんぶつ)

おはなしの 中に  
出て くる 人の  
こと。  
↓  
155 ページ

とらえよう

● 「ふきのとう」は、どんな おはなしでしたか。

• どんな とうじょうじんぶつが 出て きますか。

• どんな ことを して いますか。

• どんな ことを はなして いますか。

5

ふかめよう

● つぎの ことばを どのように 読みますか。こえに 出して、読んで みましょう。「よいしょ、よいしょ。おもたいな。」

まえに、「小さなこえ」って、書いてあるよ。

あとに、「ふんばっている」って、書いてあるよ。絵を見ると、雪がのって いて おもそうだね。







### ふりかえろう

- しる うまく 音読できた ところは、どこですか。
- 読む じんぶつが した ことや、言った ことを たしかめられましたか。
- つなぐ これから 音読する とき、どんな ことに 気を つけたいですか。

○絵え ○書か  
く

### ひろげよう

● 音読を ききあいましょう。ほかのグループの 音読を きいて、いいなど おもった ところを つたえましよう。

### まとめよう

- グループの 中で、やくに わかれて、音読を れんしゅうしましょう。
- じぶんの やくの 読みかたを かんがえて、音読します。
- よかった ところや、もっとくふうするとよい ところを つたえあいます。

### 音読で 気を つける こと

- しせい
- こえの 大きさ
- 読む はやさ
- □の あけかた

「おうい、はるかぜ」が、  
ゆつくりと 大きな こえて、  
お日さまみたいだったよ。





おはなしを たしかめる

● どうじょうじんぶつを たしかめる。

● どうじょうじんぶつが したことや、言った ことが

わかる ことばを 見つける。

● 絵に かけられて いる ことを 手がかりに する。

5

この本、読もう

はるに なった ことを

かんじる 本です。それぞれの

本の どうじょうじんぶつは、

どんな ことに はるを かんじる

のでしょう。

はるがきた



あ、はるだね



はるにあえたよ



はるをさがしに



5





読んだ 本は、ノートやカード  
に書いて おきましょう。

		四月十日	読んだ日
		はるねこ	だいいい
		かんのゆうこ	書いた人
		◎	

おもしろかった  
しるし



読 読 読 読 読 読 読 読 読 読 読  
 雪 雪 雪 雪 雪 雪 雪 雪 雪 雪 雪  
 言 言 言 言 言 言 言 言 言 言 言  
 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行 行  
 南 南 南 南 南 南 南 南 南 南 南  
 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書 書  
 絵 絵 絵 絵 絵 絵 絵 絵 絵 絵 絵

読 よむ  
 雪 ゆき  
 言 いう  
 行 いく  
 南 みなみ  
 書 かく  
 絵 え

本はともだち

# 図書館たんけん

図書館の本は、みんながさがしやすいようになかま分けされて、ならんでいます。どのようにならんでいますか、しらべてみましょう。



しぜんの たなに、  
こん虫の本が  
ならんでいます。

おりがみの おり方  
の本は どこかな。



どんな 本が  
あるのかな。



○図書館  
○なかま分け  
○こん虫  
○おり方







き  
せ  
つ  
の  
こ  
と  
は  
1

# 春が いっぱい



さくら

かたばみ

うぐいす

よもぎ

どんなものを見たときに、春だなあと  
かんじますか。春をかんじるものを、カー  
ドに書きましょう。



つくし  
きのう、学校の  
かえりみちで、つく  
しを見つけました。  
いつのまにはえた  
のだろうとおも  
いました。

みんなの書いたカードをまとめて、  
ひょうしをつけてもいいですね。



○春はる





ひばり

れんげそう



なの花



たんぽぽ



みつばち



てんとう虫



もんしろちよう



すみれ



はなが さいた

まど・みちお

はなが さいた

はなが さいた

はひふへ ほほほ

はなが さいて

みない ひと いない

はなが さいた

はなが さいた

ほへふひ ははは

はなが さいて

おこる ひと いない

10

5



春 春春春春春春春 春はる



書く

思い出して 書こう

きょうのできごと

あなたは、きょう、どんな ことを しましたか。  
どんな ことを 見たり きいたり しましたか。

思い出して、日記に 書きましょう。



○おも  
○思い出す  
○日記  
○き  
○土曜日  
○よう

四月十八日（土曜日）はれ

夕方、おかあさんがコロツケをつくって  
いました。ぼくが見ていたら、おかあさんが、  
「いっしょにつくろうか。」

と言ったので、ぼくもおてつだいをすること

5



たいせつ

日記に 書く こと

- した こと
- 見た こと、見つけた もの
- 言った こと、きいた こと
- 思った こと

いつも する ことを、つづけて  
書いても いいですね。

5







だいじなことをおとさずに、話したり聞いたりしよう

# ともだちをさがそう

にしのさんたちは、いっしょに

ゆうえんちに来ていたともだちを

さがしています。

あなたも、いっしょに

さがしましょう。

5

## 1 絵を見て話そう。

ゆうえんちには、どんな人が

いますか。その人のことが

分かるように、ともだちに話しましょう。



たしかめよう

「一年生のまなびをたしかめよう」



5ページ

がくしゅうのすめ方

1 絵を見て話す。

2 話を聞くときにだいじなことをかんがえる。

3 おしらせを聞いて、さがす。

ふりかえろう

○聞く ○話す







## 2 話を聞くときにだいじなことをかんがえよう。

まいごの おしらせを 聞く ときには、  
どんな ことに 気を つけると いいでしょう。

## 3 おしらせを 聞いて、さがそう。



まいごの おしらせを よく 聞いて、35 ページの  
絵の 中から、ともだちの ゆかさんを さがしましょう。  
だいじな ことは、メモを して おきましょう。

まいごの おしらせを します。

やまだゆかさんと いう 六さいの 女の子が、

まいごに なって います。

ゆかさんは、青と白の たての しまもようの シャツを きて、  
白い ぼうしを かぶり、リュックサックを せおって います。  
見かけた 人は、かかりまで おしらせ ください。

10

きて いる ふくや、  
もって いる ものが  
分かると、さがせそう。

ほかの 人と まちがえ  
ない ためには、なにを  
聞くと いいかな。

🌱メモ

聞いた ことや  
かんがえた こと  
などを 書きとめ  
ること。

📖  
155 ページ

・青と白の、たての  
しまもようのシャツ









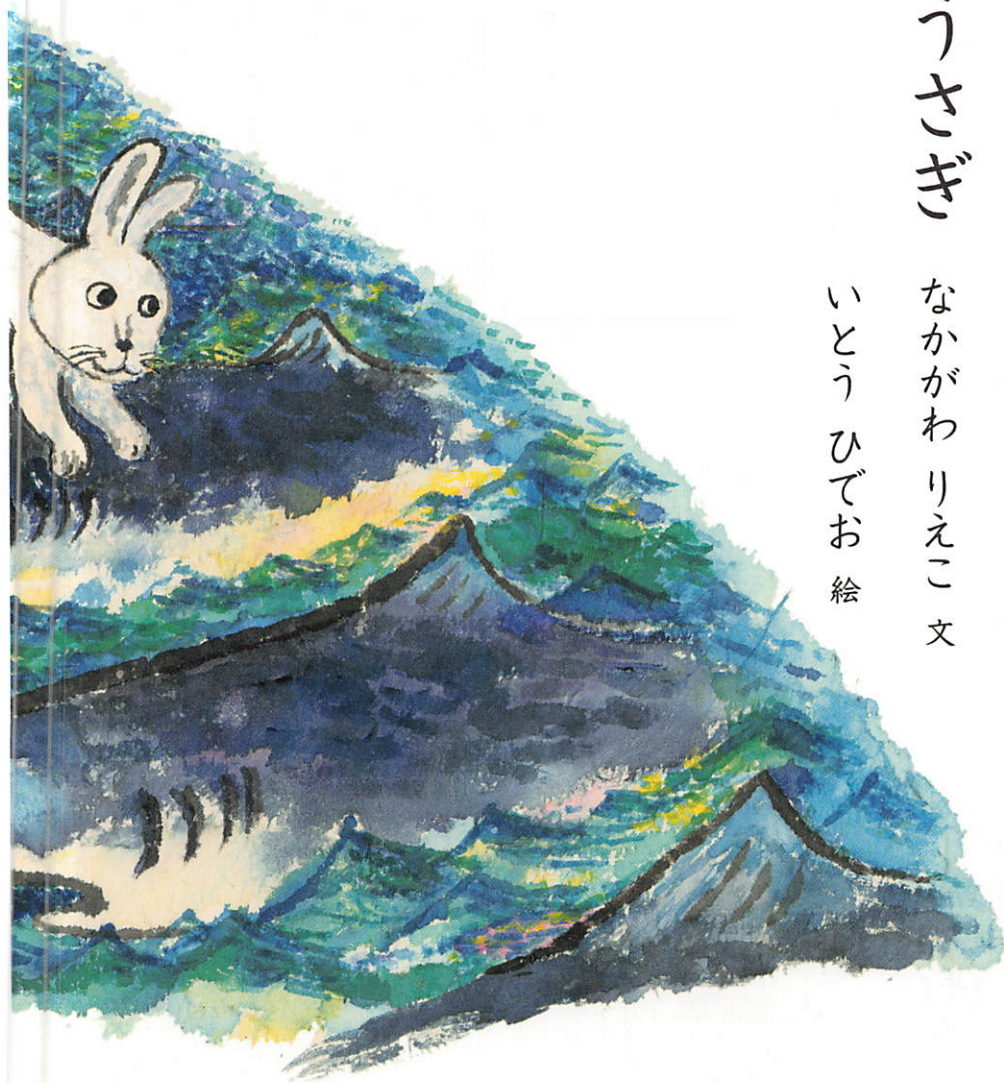
聞いて たのしもう

# いなばの 白うさぎ

なかがわりえこ文

いとうひでお絵

先生に 読んで もらって、  
お話を たのしみましょう。





▼だれが 出て きましたか。  
どんな ことが おこりましたか。  
みんなで 話しましょう。

144  
ページ



この本、読もう



カムイチカプ



さるとびつき



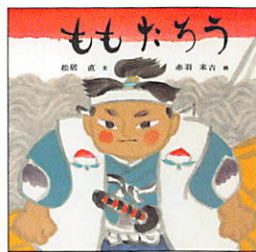
さんまのおふだ



鉢の木



ももたろう



うずらのかあさん



吉四六さん



みなさんの すむ ところには、  
 どんな お話が ありますか。  
 お話を たのしみましょう。





読む

じゅんじよに 気をつけて  
読もう

# たんぽぽの ちえ

じょうほう

じゅんじよ

2

たんぽぽの ちえとは、どんな  
ものでしょうか。たんぽぽに ついて  
しって いる ことを、ともだちと  
話しましょう。



これまでの がくしゅう

一年生の まなびを たしかめよう  
(せつめいする 文しよう) ……………

7 ページ

# たんぽぽのちえ

うえむらとしお文  
せとあきら絵

春になると、

たんぽぽの

黄色いきれいな

花がさきます。

---

○黒くろ

○黄色い  
きいろ



二、三日 たつと、

その 花は しぼんで、

だんだん 黒っぽい

色に かわって いきます。



そうして、たんぽぽの 花の じくは、

ぐったりと じめんに たおれて しまします。

けれども、たんぽぽは、かれて しまった

のでは ありません。花と じくを

しずかに 休ませて、たねに、たくさんの

えいようを おくって いるのです。

こうして、たんぽぽは、たねを どんどん

太らせるのです。

やがて、花は すっかり かれて、その

あとに、白い わた毛が できて きます。

10

5



わた毛  
○太らせる



この わた毛の 一つ一つは、ひろがると、  
ちようど らっかさんのようになりす。

たんぽぽは、この わた毛に ついて いる  
たねを、ふわふわと とばすのです。

この ころに なると、それまで たおれて  
いた 花の じくが、また おき上がります。

そうして、せのびを

するようには、

ぐんぐん のびて

いきます。

10



らっかさん

なぜ、こんなことをするのでしょう。それは、  
せいを高くするほうが、わた毛に風がよく  
あたって、たねをとおくまでとばすことができ  
るからです。

よく晴れて、風のある日には、わた毛のらっか  
さんは、いっぱいひらいて、とおくまでとんで  
いきます。



5

○晴は  
れる

○風かせ

○高たか  
い



でも、しめり気の多い日や、雨ふりの日には、わた毛のらっかさんは、すぼんでしまいます。それは、わた毛がしめって、おもくなると、たねをとくまでとばすことができないからです。このように、たんぽぽは、いろいろなちえをはたらかせています。そうして、あちらこちらにたねをちらして、あたらしいなかまをふやしていくのです。

5



しめり気  
•  
多い おおい





見とおしをもとう

じゅんじよに 気をつけて 読もう

- じゅんじよが 分かる ことばに 気をつけてみましょう。
- たんぽぽが、どんな ちえを はたらかせて いるかを たしかめましょう。

とらえよう

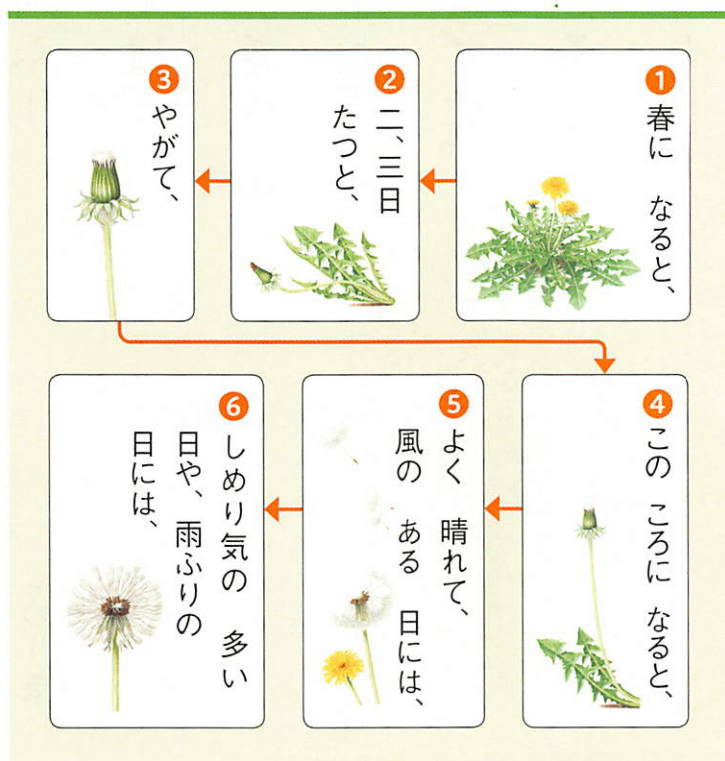
● たんぽぽの ちえが いくつ あるかを、かんがえながら 音読しましょう。

● たんぽぽは、いつ、どんな ちえを はたらかせて いますか。ときを あらわす ことばや、かわって いく じゅんじよに 気をつけて 読みましょう。

5

ふかめよう

● たんぽぽの ちえには、どんな わけがありますか。文の おわりの ことばに 気をつけて、たしかめましょう。







### ふりかえろう

- **しる**      じゅんじょが 分かる ことばを、いくつ 見つける ことが できましたか。
- **読む**      たんぽぽは、どんな じゅんじょで ちえを はたらかせて いましたか。
- **つなぐ**      なにかを せつめいする ときに、つかいたい ことばは どれですか。

### ひろげよう

● ともだちが 書いた ものを 読んで、  
 じぶんと おなじだなと 思った こと  
 を つたえあいましょう。

### まとめよう

● ————の です。      ● ————から です。

● たんぽぽの ちえで、かしこいと 思  
 う ところは どこですか。わけと  
 いっしょに 書きぬきましよう。あなた  
 が 思った ことも 書きましよう。

5

**ちえ**

たんぽぽの花のじくは、ぐったりとじめんにたおれてしまっています。

**わけ**

花とじくをしずかに休ませて、たねに、たくさんのえいようをおくっているのです。

**思ったこと**

たんぽぽが、花とじくを休ませていることを、はじめてしりました。

**思った ことを 書く ときの ことば**

- ふしぎだと 思いました。
- おもしろいと 思いました。
- もっと しりたく なりました。

5



せつめいする 文しやうを  
読む

せつめいする 文しやうを

読む ときには、つぎの ことに

気を つけます。

● じゆんじよ

● わけ

5

この本、読もう

草花の ちえに ついて

書かれた 本です。どんな ちえが

あるでしょうか。



チューリップ



スマレとアリ



たねのずかん



黄 黄黄黄黄黄黄黄黄黄黄  
黄色い

毛 毛毛毛毛

わた毛 (毛)

晴 晴晴晴晴晴晴晴晴晴晴  
晴れる  
多い

黒 黒黒黒黒黒黒黒黒黒黒  
黒

高 高高高高高高高高高  
高い

太 太太太太

太らせる

風 風風風風風風風風風風  
風





じょうほう

つながりを とらえよう

# じゅんじよ

二、三日 たつと、

やがて、



「たんぽぽのちえ」は、たんぽぽの  
ようすが、じかんの じゅんじよで  
せつめいされて いました。

5

文しようを 読む ときだけでは

なく、話す ときや 聞く とき、

書く ときにも、じゅんじよを

かんがえるように しましよう。

• じかんの じゅんじよ

• しかたの じゅんじよ

• たいせつさの じゅんじよ

▼ つぎの ことを、じゅんじよに

気を つけて 話しましよう。

• あさ おきてから した こと。

• きゆうしよくの じゅんじよの

しかた。

10

5

ていねいに かんさつして、きろくしよう

# かんさつ名人になろう

かっ てる 生きものや、そだてる いる

しよくぶつを、ていねいに かんさつして、

きろくしましょう。



たしかめよう

「一年生の まなびを たしかめよう」

 6ページ

がくしゅうの おすすめ方

1 かんさつする ものを きめて、  
ていねいに かんさつする。

2 見つけた ことや 気づいた  
ことを、ともだちと 話す。

3 かんさつした ことを きろく  
する 文しように 書く。

4 書いた 文しように 読みあう。

ふりかえろう



1 かんさつする ものを きめて、

ていねいに かんさつしよう。

ようすや うごきを、ていねいに かんさつしましょう。

• 大きさや 形、色を 見る。 • 長さを はかる。

• いろいろな 方から 見る。 • さわる。

• 数を 数える。 • においを かぐ。

かんさつした ことは、かんたんに

メモして おきましょう。

ミニトマト

五月十八日 晴れ

- 黄色い花がさいた。
- 花びらが、そりかえっていた。
- 花の形は、ほしみたいだった。

10

せいかつの じかに  
そだてて いる、ミニトマトの  
ことを 書こう。



うちで かって  
いる かたつむりを  
かんさつしよう。



• 生きもの  
• 名人

• 形 かたち  
• 長さ ながさ  
• 方 ほう  
• 数 かず  
• 数える かぞえる

2 見つけた ことや 気づいた ことを、ともだちと 話そう。

かんさつして 見つけた ことや 気づいた ことを、  
メモを 見ながら、ともだちと 話しましょう。

そして、なにを 文のように 書くかを きめましょう。



ともだちに しつもんを して もらうと、書いて  
おくと よい ことが 見つかる ことも あります。

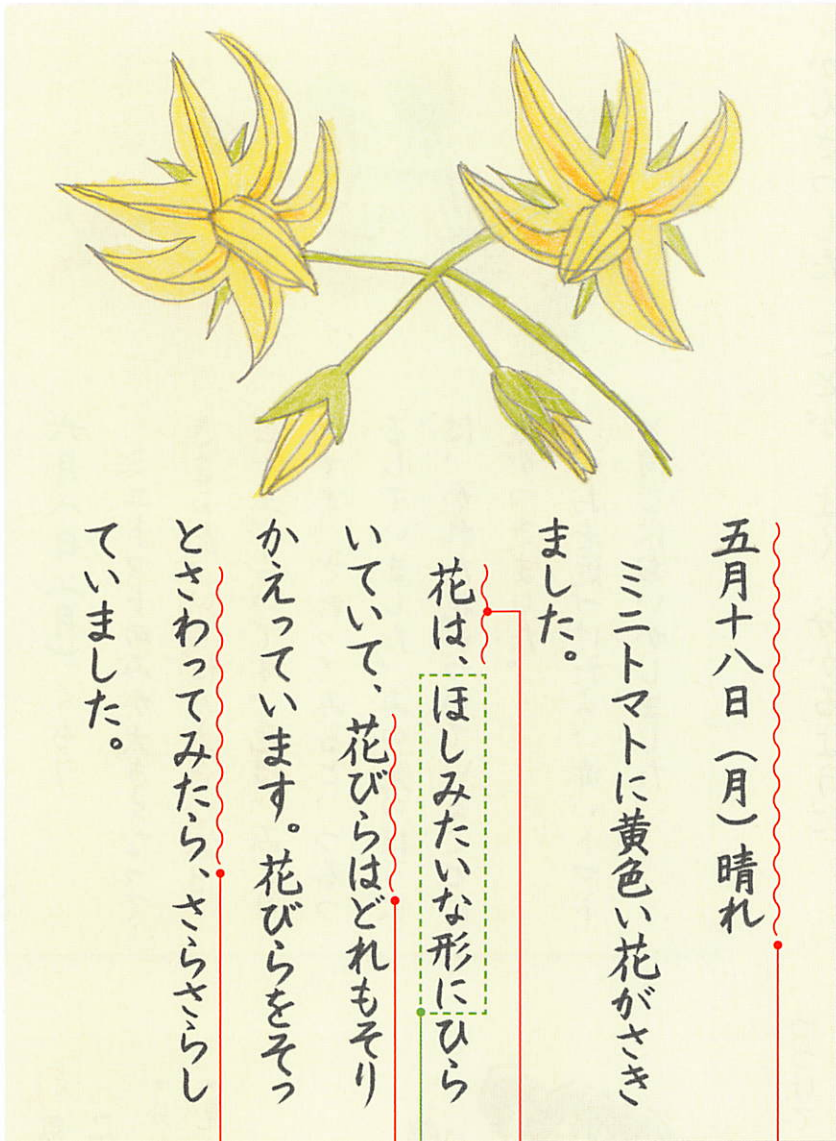


からだ  
の体



3 かんさつした ことを きろくする 文しようを 書こう。

かんさつした ことが、よく 分かるように 書きましよう。



五月十八日(月) 晴れ

ミニトマトに黄色い花がさき、  
ました。

花は、ほしみたいな形にひら  
いていて、花びらはどれもそり  
かえっています。花びらをそっ  
とさわってみたら、さらさらし  
ていました。

日づけ、曜日、天気を  
書く。

「花は」「花びらは」など、  
なんの ことがが 分か  
るように 書く。

「みたいだ」「ようだ」な  
どを つかつて、ようす  
を くわしく 書く。

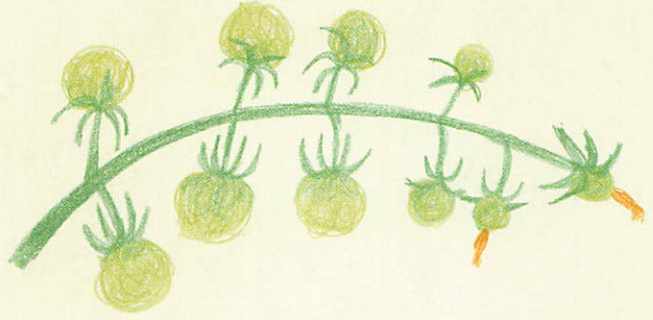
どう やつて かんさつ  
したのかを 書く。

10

5

10

5



六月八日(月)くもり

ミニトマトのみが大きくなって  
きました。いちばん大きなみは、  
ビー玉ぐらいです。色は、みどり  
色です。さわってみると、つるつ  
るしていました。みの先のほうに  
は、かれた花がついていることに  
気がつきました。

かおを近づけたら、赤いトマト  
と同じにおいがありました。

かんさつした ことが よく 分かるように  
書いて いるか、読みかえしましょう。

10

5

つづけて きろくして  
いくと、かわって いく  
ようすが 分かるよ。



🔍 気が ついた ことや、見つけた  
ことを 書く ときに つかう ことば  
・ 分かりました。 ・ 気が つきました。  
・ 見つけました。

ちか  
近づく  
おな  
同じ  
▲ ビー玉





ことば 同じ ぶぶんをもつ かん字

かん字には、同じ ぶぶんを

もつ ものがあります。

絵の 中の かん字を 見て、

同じ ぶぶんを さがしましょう。





▼ 同じぶぶんには気をつけて、□の中の  
かん字を、読んだり書いたりしましょう。

● 学校で、かん字をならう。

● 今、おとうさんは、会社にいる。

● この小刀は、よく切れる。

● 町内の店で、百円のおかしを

かう。

● 姉と妹が、なかよくあそぶ。

● 晴れた日に、プールへ行く。

● 太い線で絵をかく。

● 汽車のまどから、海が見える。

今 今今今今  
今 いま

会 会会会会会  
会 かいしゃ

社 社社社社社

刀 刀刀  
小刀 がたな  
刀 かたな

切 切切切切  
切 き  
切れる

内 内内内内  
町内 ちやうない

店 店店店店店  
店 みせ

姉 姉姉姉姉姉  
姉 あね

妹 妹妹妹妹妹  
妹 いもうと

線 線線線線線  
線 せん

汽 汽汽汽汽汽  
汽 き  
汽車

海 海海海海海  
海 うみ

○海 うみ ○汽車 き ○線 せん ○妹 いもうと ○姉 あね ○店 みせ ○町内 ちやうない ○切れる き ○小刀 こがたな ○会社 かいしゃ ○今 いま

ことば  
うれしい  
ことば

どんな ときに、どんな ことばを  
言っ て もらうと、うれしいですか。  
ともだちと 出しあいましょう。

- がんばった とき
- ひどりで いた とき

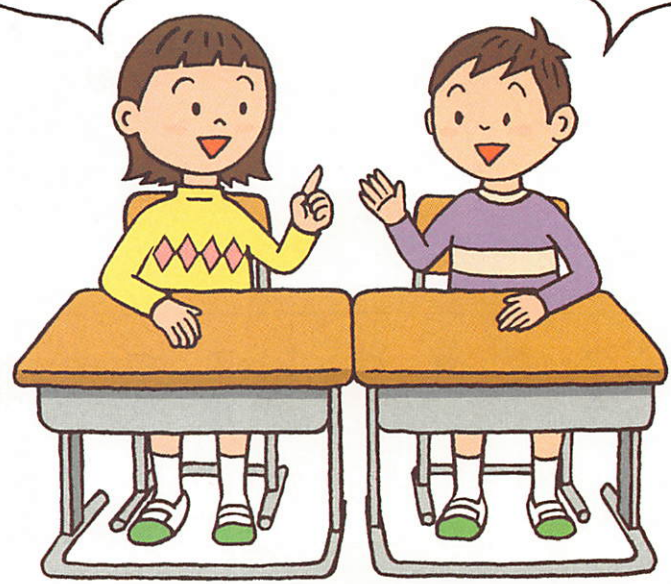


- こまった とき
- はじめて できた とき



おとしものを  
した とき、「いっ  
しよに さがそう」  
と 言っ て もらっ  
て、うれしかったよ。

わたしは、「あり  
がとう」。っ て 言わ  
れると、うれしいな。





うれしい ことばを 書きましょう。

じょうずだね

さかい まさし

なわとびを、八十回も

つづけてとべました。

あおやまさんが見ている、

「じょうずだね。」

と言ってくれました。

とてもうれしかったです。

5

ほくも、「いっしょにあそぼう」。って 言われると、うれしいよ。

いっしょにあそぼう

きくち ありさ

ひとりでこうていを歩

いていたら、どいさんが、

「いっしょにあそぼう。」

とさそってくれました。

こんどは、わたしがさ

そおうと思います。

5



こんどは、わたしが、このことばを 言うてあげたいな。

八十回<sup>か</sup> 歩<sup>ある</sup>く

ともだちの 「うれしい ことば」 を しって、  
どう 思いましたか。

回 回 回 回 回 回 回 回 回 回  
歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩 歩  
歩<sup>ある</sup> 八十回<sup>か</sup>





# かん字の ひろば

1年生で  
ならった かん字

## 1

夕  
日

赤  
い

山

王  
さま

田  
んぼ

森

村

学  
校

町

車

林

川

貝

青  
い

絵の中のことを、文をつくりましょう。  
文のおわりには、まる（○）をつけましょう。  
（れい）しまから見える夕日は、赤くて、とてもきれいです。



# 3

## スイミー



読む

お話を 読んで、  
しょうかいしよう

魚の「スイミー」は、きょうだいたちと たのしく くらして いました。「スイミー」たちに、どんなことが おこるのでしょうか。



これまでの がくしゅう

おはなしを たしかめる (ふきのとう) …… 26 ページ



# スイミー

レオ・レオニ さく・絵

たにかわしゅんたろうやく

広い 海の どこかに、小さな 魚の きょうだい  
たちが、たのしく くらして いた。

みんな 赤いのに、一匹だけは、からす貝よりも  
まっくら。およぐのは、だれよりも はやかっただ。

名前は スイミー。

5

名前なまえ

広いひろ

魚さかな



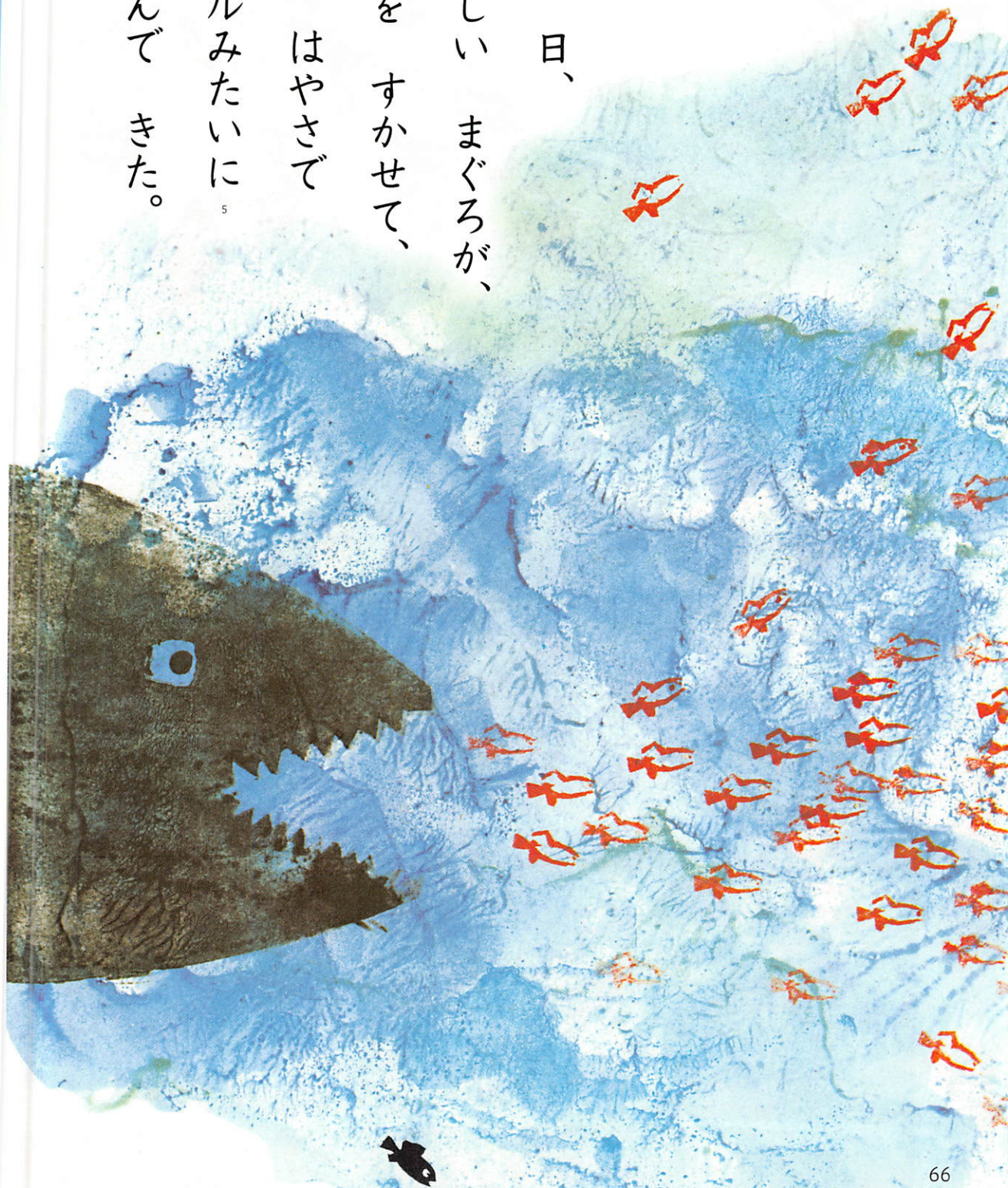






ある日、  
おそろしい まぐろが、  
おなかを すかせて、  
すごい はやさで  
ミサイルみたいに  
つつこんで きた。

5





一口で、まぐろは、

小さな 赤い

魚たちを、一ぴき

のこらずのみこんだ。

にげたのは

5

スイミーだけ。

スイミーは およいだ、

くらい 海の そこを。

こわかった。さびしかった。

とても かなしかった。

10



けれど、海には、すばらしい ものが いっぱい  
あった。おもしろい ものを 見る たびに、  
スイミーは、だんだん 元気を  
とりもどした。

にじ色の

ゼリーのよう な くらげ。

水中ブルドーザーみたいな

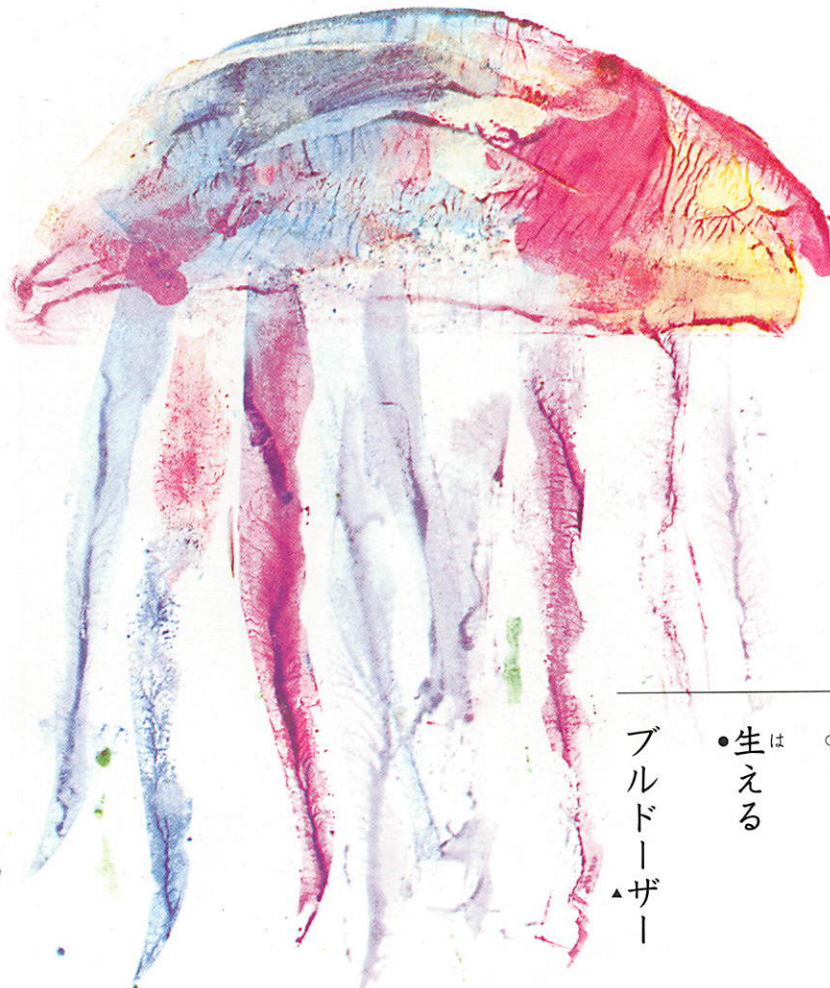
いせえび。

見た ことも ない

魚たち。 見えない 糸で

10

5



ブルドーザー  
▲

• 生 は  
える

○ 岩 いわ

• 水 ちゆう  
中

○ 元 げん  
気



ひっぱられて いる。

ドロップみたい な 岩から

生えて いる、こんぶや

わかめの 林。

うなぎ。 かおを 見る

ころには、しっぽを わすれて

いるほど 長い。

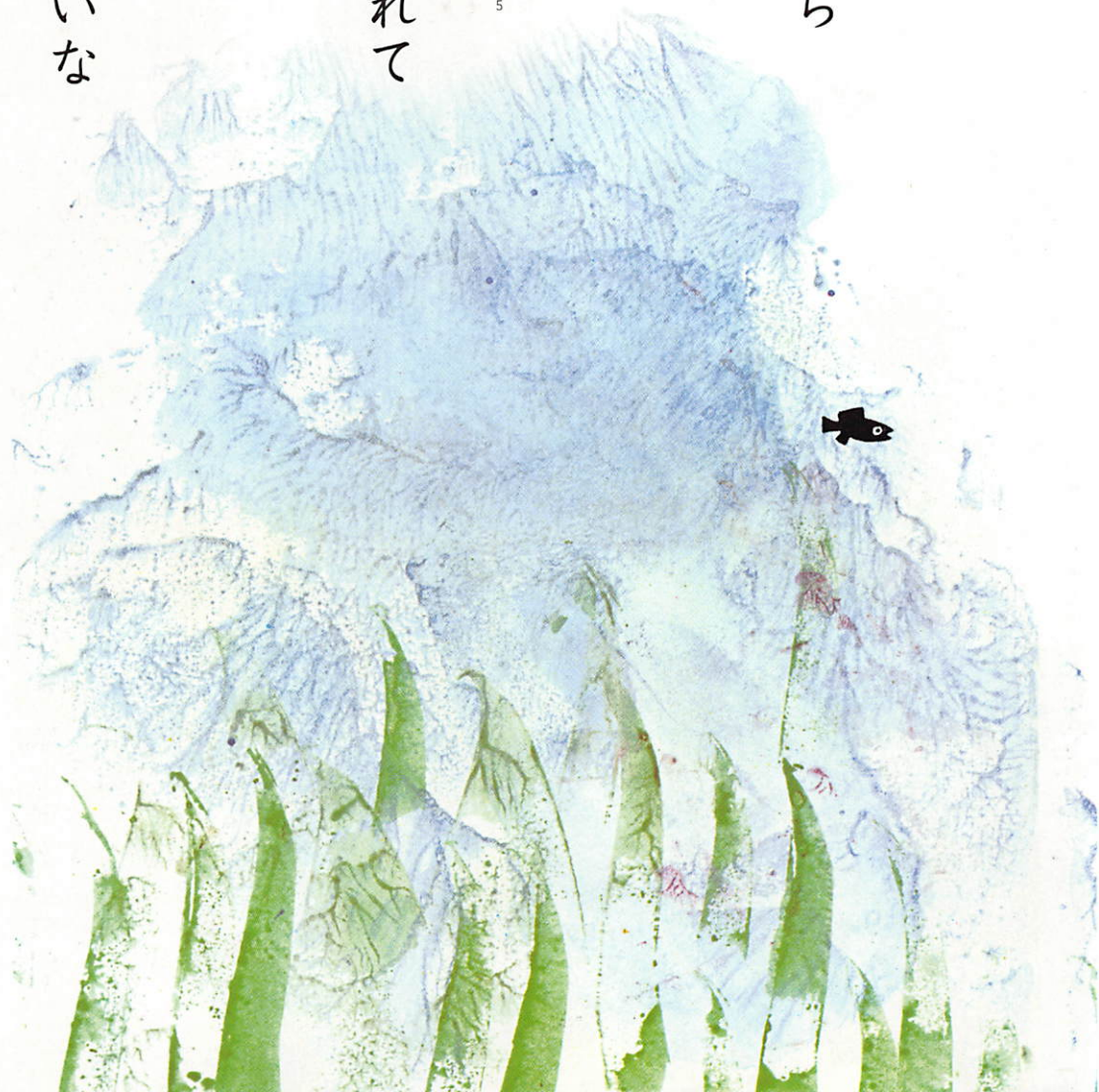
そして、風 に ゆれる

もも色の やしの 木みたい な

いそぎんちやく。

10

5

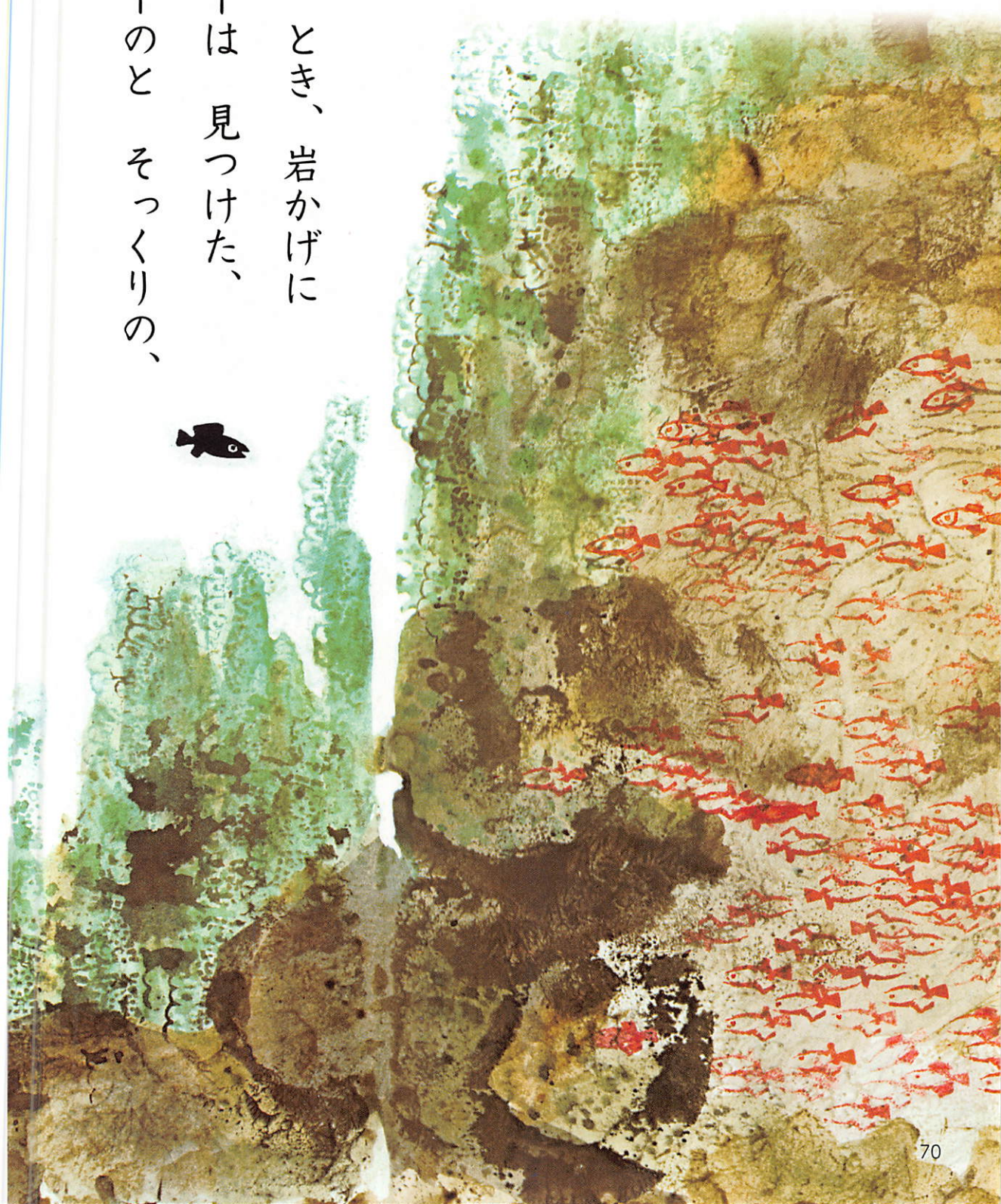




そのとき、岩かげに

スイミーは 見つけた、

スイミーのと そっくりの、





小さな 魚の きょうだいたちを。

スイミーは 言った。

「出て こいよ。みんなで あそぼう。

おもしろい ものが いっぱいだよ。」

小さな 赤い 魚たちは、こたえた。

「だめだよ。大きな 魚に たべられて しまうよ。」

「だけど、いつまでも そこに じっと して いる

わけには いかないよ。なんとか かんがえなくちゃ。」

スイミーは かんがえた。いろいろ かんがえた。

うんと かんがえた。



それから、とつぜん、

スイミーは さげんだ。

「そうだ。みんな

いっしょに およぐんだ。

海で いちばん 大きな

魚の ふりを して。」

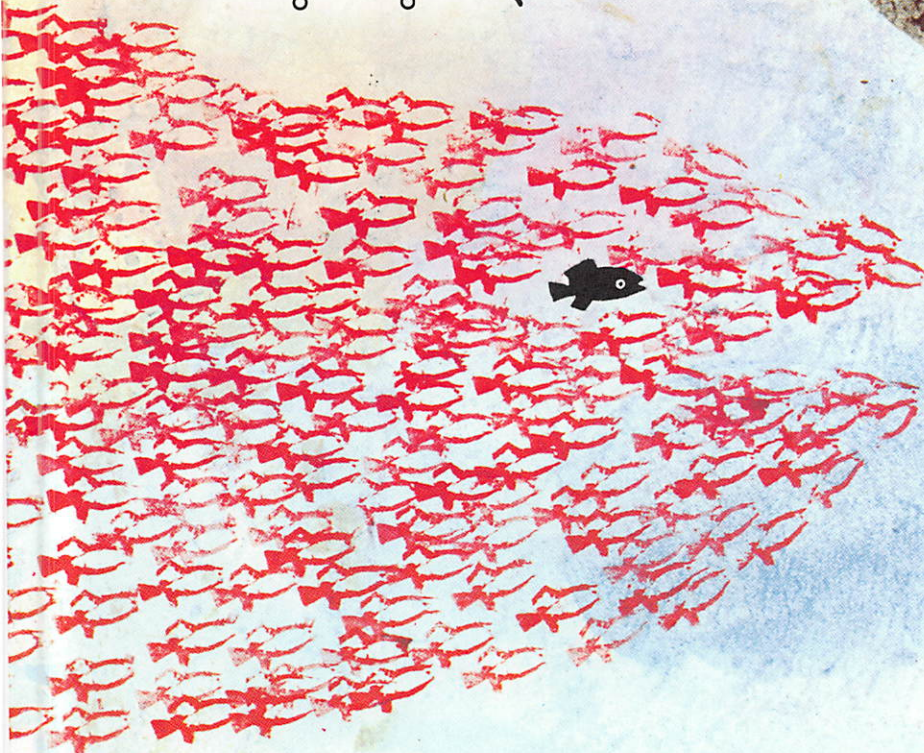
スイミーは 教えた。けっして、

はなればなれに ならない こと。

みんな、もちばを まもる こと。

みんなが、一ぴきの 大きな

10



光ひかり 教おしえる



魚みたいに およげるように  
なった とき、

スイミーは 言った。

「ぼくが、目になろう。」

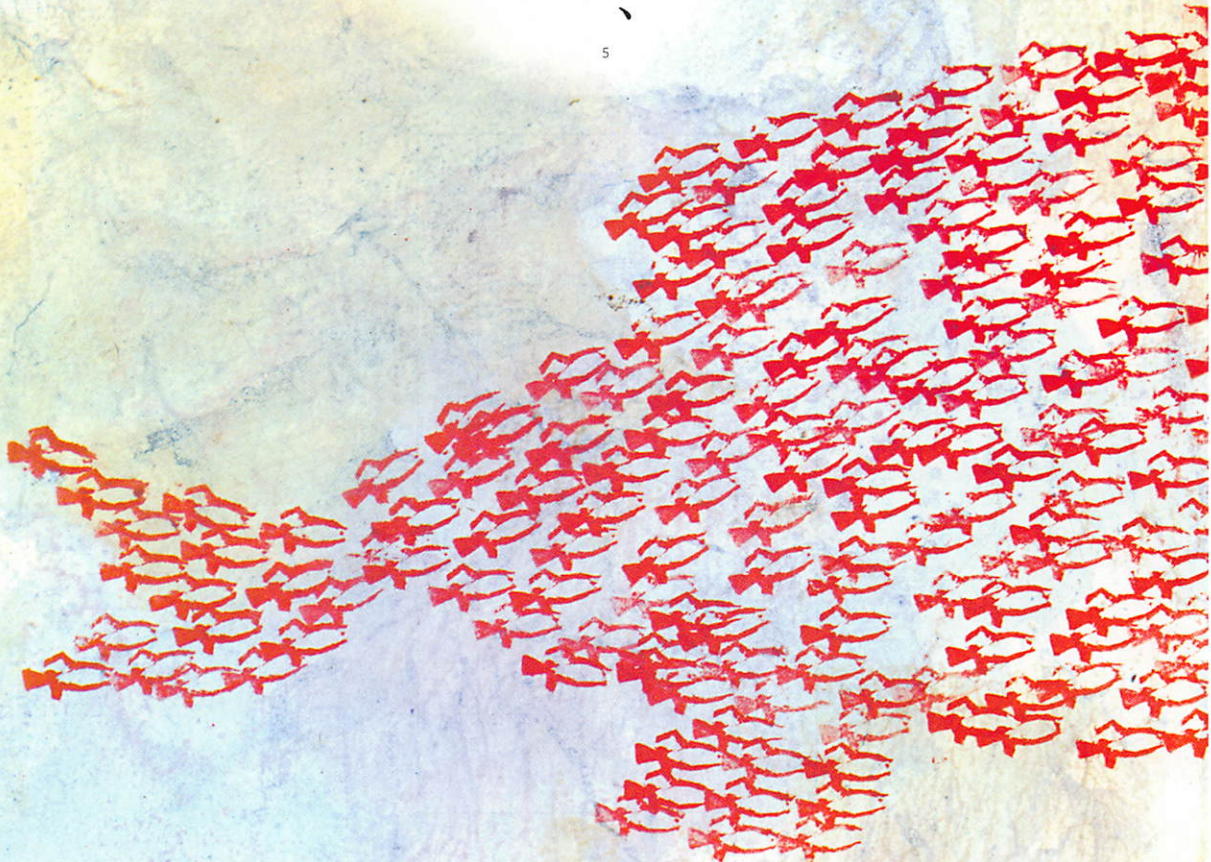
あさの つめたい 水の 中を、

ひるの かがやく 光の 中を、

みんなは およぎ、

大きな 魚を おい出した。

レオニレオニさんは、「せかい いち おおきな  
うち」「あいうえおの き」なども 書いて います。





見とおしをもとう

## お話を 読んで、しょうかいしよう

- ようすが 分かる ことばを 見つけましょう。
- じんぶつが した ことや、できごとに 気をつけて 読みましょう。

あらすじ

156 ページ

## とらえよう

じんぶつが した ことや できごとを  
ちゅうしんに、お話を みじかく まと  
めた ものを、あらすじと いいます。

● お話の ながれを たしかめましょう。

(1) 「スイミー」は、どんな じんぶつで  
すか。

(2) どんな できごとが おこりましたか。

「スイミー」は、なにを しましたか。

● たしかめた ことを もとに、お話の  
あらすじを まとめましょう。

## お話の ながれを たしかめる れい

はじめ	「スイミー」の しょうかいを 書く
中	〈できごとを 書く〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>• おそろしいまぐろがやってくる。</li> <li>• 小さな赤い魚たちがのみこまれる。</li> <li>• スイミーは、にげる。</li> <li>• 海のおもしろいものを見る。</li> </ul>
おわり	• 大きな魚をおい出した。

## たとえを あらわす ことば

「——ような」「——みたいな」などの たとえ  
を あらわす ことばにも 気をつけましょう。





ふりかえろう

- しる      ようすが    分かる    ことばには、どのような    ものが    ありましたか。
- 読む      あらすじを    まとめる    とき、どんな    ことに    気を    つけましたか。
- つなぐ      ともだちの    文しように    読んで、いいなど    思った    ところは    どこですか。

ひろげよう

● 書いた 文しようにを、ともだちと 読み  
あいました。いいなど 思う    ところ  
を、つたえあいました。

まとめよう

● いえの 人に、「スイミー」を    しょ  
うかいする    文しようにを    書きましよう。

ふかめよう

● できごとの    ようすが    分かる    こと  
ばに    気を    つけて、お話を    そうぞう  
しましよう。

文しようにの    れい

「スイミー」というお話には、お  
よぎがはやくて、一ぴきだけ黒い、  
スイミーという魚が出てきます。  
ある日、おそろしいまぐろが、  
スイミーのきょうだいたちをのみ  
こんでしまいます。スイミーは一  
ぴきだけにげます。

スイミーたちは、力をあわせて、  
大きな魚をおい出しました。

このお話を読んで、みんなで力  
をあわせると、なんでもできるん  
だと思いました。

10

5

思った  
こと

あらすじ

出てくる  
じんぶつ



あらすじを まとめる

● じんぶつが した ことや

できごとを、みじかい ことば

で 書く。

● 書いた ものを、お話の じゅん  
につなげる。

5

この本、読もう

レオレオニさんの お話と

絵を たのしみましょう。



さかなは さかな



コーネリアス



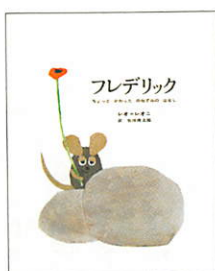
じぶんだけの いろ



ひとあし ひとあし



フレデリック



アレクサンダと  
ぜんまいねずみ



魚 魚魚魚魚魚魚魚 魚  
広 広広広広広  
前 前前前前前前前 名前

元 元元元元元  
岩 岩岩岩岩岩岩岩 岩  
元 元気

教 教教教教教教教 教  
光 光光光光光光光 光  
教 教える





かたかなの  
ひろば

絵の中のことをつかって、文をつくりましょう。  
〈れい〉犬が、ゴールを 目ざして はしって います。

ゴール





じょうほう

# あつめる ときに つかおう メモをとる とき



メモには、おぼえて おきたい ことや  
 あとから たしかめたい こと、だれかに  
 知らせたい ことなどを、みじかい ことば  
 で 書きます。

メモをとる ときは、つぎの ことに  
 気を つけましょう。

- メモに 書くとき いい ことは  
 なにかを 考える。
- 正しく 書く。

- 知らせる
- かんがえる
- 教室きょうしつ



六月十五日(月)

・パンやさん

・どうぶつの形のパン

・くま

・うさぎ



絵も かいて おくと、  
見た ものの ようすが  
あとからでも 分かるね。



▼教室に ある ものの 中から、いえの

人に 知らせたい ものを きめます。

そして、ようすを くわしく 知らせる

ことが できるように、メモを とりま

しよう。

▼書いた メモを 見せあいました。

いい 書き方だなと 思った ところを、

ともだちに つたえましょう。

メモを 書いた あとは

見かえして、ほかに 書いて

おくと よい ことは ない

かを たしかめるように

しましょう。



知 知知知知知知知 知らせる

考 考考考考考 かんが 考える

室 室室室室室室室 教室

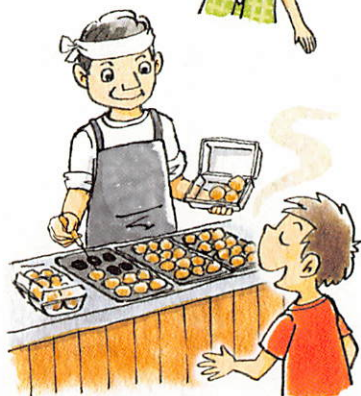


組み立てを 考えて 書き、知らせよう

# こんな もの、見つけたよ

町の 中を たんけんすると、いろいろな ものに  
出会います。

おもしろいなど 思った ものを 文しように して、  
ともだちに 知らせましょう。組み立てを 考えて、  
分かりやすく 書きましょう。



たしかめよう

「一年生の まなびを たしかめよう」

かくしゅうの すずめ方

1 見つけた ものを 書きとめる。

2 組み立てを 考える。

3 書いて、読みかえす。

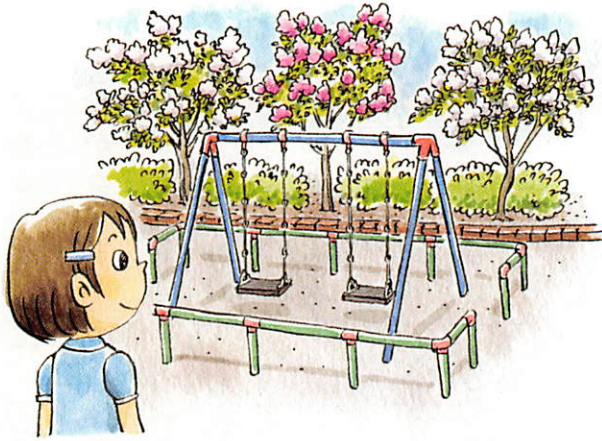
4 みんなで 読んで、かんそうを  
つたえる。

ふりかえろう

組くみ立たて  
出あ会いう


6 ページ





1 見つけた ものを 書きとめよう。

見つけた ものや 気づいた ことを、メモしましょう。  
 知りたい ことが あったら、先生や まわりの 人に  
 たずねましょう。

「メモをとる とき」  
 78ページ

きれいな花がさいている木  
 ・くじらこうえん  
 ・ブランコの後ろ  
 ・木のみき、まがっている  
 　　つるつる  
 ・ピンクの花の木 一本  
 ・白い花の木 二本

10

5

なにを 見つけたか

どこで 見つけたか

どんな ものか

・大きさ、形、色

・数

・さわった かんじ

・におい

など

5

どんな ことを  
 メモして おくと  
 いいかな。

。後ろ

どこで 見つけたか  
 書いて おかないと、  
 わすれそう。



## 2 組み立てを 考えよう。

メモを もとに、「はじめ」「中」「おわり」の 組み立てで なにを 書くかを 考えましょう。ともだちと こうかんして、そうだししましょう。

はじめ	中	おわり
知らせたい こと	くわしい せつめい	まとめの ことば
<ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいな花がさいている木を、くじらこうえんで見つけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランコの後ろに生えていた。</li> <li>・木のみきが、つるつるしている。</li> <li>・ピンクの花がさいている木が一本、白い花がさいている木が二本あった。</li> <li>・先生にきいてみたら、さるすべりという木だと教えてくれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなにも、さるすべりの花を見てほしい。</li> </ul>

## 3 書いて、読みかえそう。

「中」に書いた ほうが読みやすいね。

「はじめ」に、見つけたものと、見つけた ばしよを 書いて みたよ。



## 組み立て

文しょうなどが、どんな まとまりとじゅんじよできて いるかという こと。

156 ページ



きれいな花がさいた木

マキキ、まな

わたしは、くじらこうえんで、きれいな花が  
さいている木を見つけました。

ブランコの後ろに、ピンクの花がさいている木  
が一本、白い花がさいている木が二本ありました。  
木のみきをさわってみると、つるつるしていて、  
びっくりしました。

先生にきいてみたら、

「それは、さるすべりの木ですよ。  
と教えてくれました。」

みなさんも、ぜひ、さるすべりのきれいな花を  
見に行ってください。

10

5

かぎ（「」）を  
つけて、きいた  
ことを 書こうかな。



人に きいた 話は、かぎを  
つかわずに、「——— そうです。」を  
つけて 書く ことも できます。

#### 4 みんなで 読んで、かんそうを つたえよう。

ともだちの 文しよを 読んで、はじめて 知った ことや、  
分かりやすかった ところを つたえましょう。



くじらこうえんに、つるつるの  
木が あるなんて、知らなかったよ。  
ぼくも、さわって みたいな。



はじめに、なにを  
知らせたいかが  
書いて あって、  
分かりやすかった。



#### 組み立てを 考えて 書く

- 「はじめ」に、なにを 知らせたいかを 書く。
- 「中」に、知らせたい ことを、くわしく 書く。
- 「おわり」に、まとめの ことばを 書く。



#### ふりかえろう

- 知る      どんな ことを メモして おくと よいと 思いましたか。
- 書く      知らせたい ことが 分かりやすく なるように、「中」を どう 書きましたか。
- つなぐ      ともだちの 文しよを 読んで、分かりやすいなど 思った ところは、どこですか。







話す・聞く

しつもんをしあって、くわしく考えよう

あつたらいいな、こんなもの

「今はないけれど、こんなものが あつたらいいな。」と  
考えると、なんだかわくわくしてきませんか。

友だちとしつもんをしあって、あつたらいいなと 思う  
もののことを、くわしく考えましょう。



たしかめよう

「一年生の まなびを たしかめよう」



5ページ

がくしゅうのすすめ方

1 あつたらいいなと 思うものを、  
絵にかく。

2 くわしく考えるために する  
しつもんを、たしかめる。

3 しつもんをしあって、くわしく  
考える。

4 はっぴょうし、かんそうを  
つたえあう。

ふりかえろう



1 あったらしいなと 思うものを、絵にかこう。



空をじゆうにとべる、  
まほうの羽があつたら  
いいな。



とんぼの羽の形が いいな。  
ランドセルみたいに、せなかに  
せおえるようにしよう。

2 くわしく考えるために する しつもんを、  
たしかめよう。

友だちとしつもんをしあつて、あつたらしいなと 思うものを  
くわしく考えます。下のようなことをしつもんすると、友だち  
が 考えていることを、はつきりさせることができます。

5

### 🔍 しつもんすること

- あつたらしいなと 思うわけ
- はたらき（できること）
- 形や色、大きさなど

🌱 しつもん

分らないこと  
などを 人にきく  
こと。  
📖 155ページ

👤 友だち

🦋 羽はね



形や色、大きさなど

それは、どんな形や色をしているの。



はたらき（できること）

さんぽのほかには、どんなことができるの。

空をとんで、どこへでも行けるし、空でちゅうがえりもできるよ。



あつたらいいなと 思うわけ

どうして、あつたらいいなと思ったの。

雲の上をさんぽしたら、たのしいだろうなと思ったからだよ。

3 しつもんをしあつて、くわしく考えよう。  
絵を見せながら せつめいをし、友だちから しつもんを  
してもらって、考えをくわしくしましょう。



10

5

はっぴようするときに やくに立ちます。

こたえたことを メモしておく、

- わけ
- ・雲の上をさんぽしてみたいから。
- はたらき
- ・空をとんで、どこへでも行ける。
  - ・空でちゅうがえりができる。
- 形や色、大きさ
- ・とんぼの羽の形。
  - ・すきとおっている。
  - ・せなかにせおえるくらいの大きさ。

5

10







とんぼの羽みたいな 形をしているよ。  
色は、すきとおっているんだ。

大きさは、どれぐらいなんだろう。

ランドセルみたいに せなかにせおえるくら  
いの大きさだよ。

#### 4 はっぴょうし、かんそうをつたえあおう。

グループになり、はっぴょうしあいましょう。はっ  
ぴょうするときは、「です」「ます」などの ていねいな  
言い方をします。聞いた人は、かんそうをつたえましょう。



ふりかえろう

- 知る      ていねいな言い方と      ふつうの言い方は、どんなときにつかうと      よいですか。
- 話す・聞く      話す人の考えを      くわしく聞くために、どんなしつもんをしましたか。
- つなぐ      つぎに      しつもんをするときには、どんなことに      気をつけたいですか。

友 友友友友 友ともたち

羽 羽羽羽羽羽 羽はね

雲 雲雲雲雲雲雲雲 雲くも



たいせつ

しつもんをして、  
あいての考えをひき出す

- あいての考えを      くわしく聞く  
ために、だいじなことは      なに  
かを考えて、しつもんする。
- ていねいな言い方と、ふつうの  
言い方の      どちらをつかうとよ  
いか、考える。

。雲くも

きせつの  
ことば 2

# 夏が いっぱい



せみ

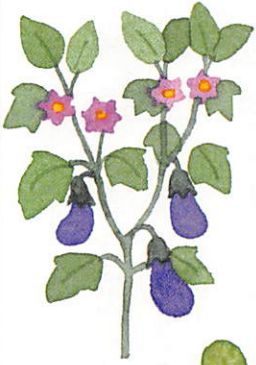
あさがお



つゆ草



なす



えだまめ



どんなものを見たときに、夏だなあと感じますか。夏をかんじるものを、カードに書きましょう。

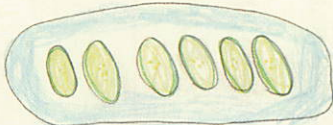


ほたる

おじいちゃんの家に行ったとき、ほたるを見ました。光っていて、とてもきれいでした。

きゅうり

学校でそだてたきゅうりを、いえてひやして食べました。みんなが、「おいしいね。」と言ってくれました。



15

10

夏なつ







かぶと虫

くわがた虫

とうもろこし

ピーマン

トマト

ひまわり

すいか

みんみん

たにかわしゅんたろう

みんみん なくのは せみ

そうっと ちかづく あみ

はやしの むこうに うみ

きらきら かがやく なみ

よびごえ きこえる みみ

いちばん なかよし きみ

とこやに いったね かみ

まっかに みのった ぐみ

夏 夏夏夏夏夏夏夏夏夏  
夏なつ

# お気に入りの本を しょうかいしよう

あなたは、これまでに、どんな本を 読んできましたか。  
お気に入りの本を、友達にしょうかいしましょう。



●がくしゅうのすすめ方

1 これまでに読んだ本を ふりかえる。

2 しょうかいする本をえらぶ。  
「ミリーのすてきなぼうし」  
↓  
97ページ

3 本を読んで、しょうかいメモを書く。

4 本をしょうかいする。





1 これまでに読んだ本を ふりかえろう。

二年生になってから、どんな本を  
読んできましたか。読書きろくななどを  
読みかえして、思い出しましょう。



わたしは、虫がすきだから、虫の本を たくさん読んだんだ。「あめんぼがとんだ」が、おもしろかった。



レオレオニさんの本を、三さつ読んだよ。絵がきれいで、たのしいお話だった。



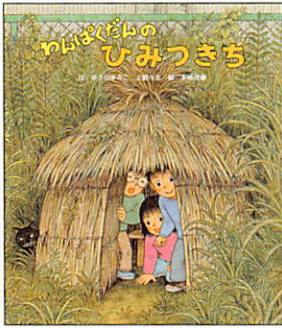
ぼくは、図書館かんのおすすめコーナーの本を、よくかいたよ。子どもが出てくるお話がすきだな。

読んだ日	書いた人	おもしろかった しるし
六月 二十四日	ミリーのすてきな なぼうし きたむら さとし	◎

2 しょうかいする本をえらぼう。

これまでに読んだ本や、おもしろそうだと思う 本の中から、  
友だちにしょうかいしたい本を えらびましょう。

「本のせかいを広げよう」  
141ページ



ぼくは、「ミリーの  
すてきなぼうし」という  
お話にしようかな。



このお話は、97ページから読むことができます。



3 本を読んで、しようかいメモを書こう。

えらんだ本を読みかえして、どんなところをしようかいするか、考えましょう。

「ことばのたからばこ」

153ページ

だいいい	ミリーのすてきなぼうし
書いた人	きたむら さとし
とうじょう じんぶつ	ミリー 店長さん おばあさん ママ
どんなお話か	ミリーが、そうぞうでいろいろなぼうしをかぶるお話。
すきなところ	ミリーが、公園で、みんながいろいろなぼうしをかぶっていることに気づくところが、たのしい。

10

5



- 公園
- 店長

#### 4 本をしようかいしよう。

友だちに、お気に入りの本をしようかいしましょう。



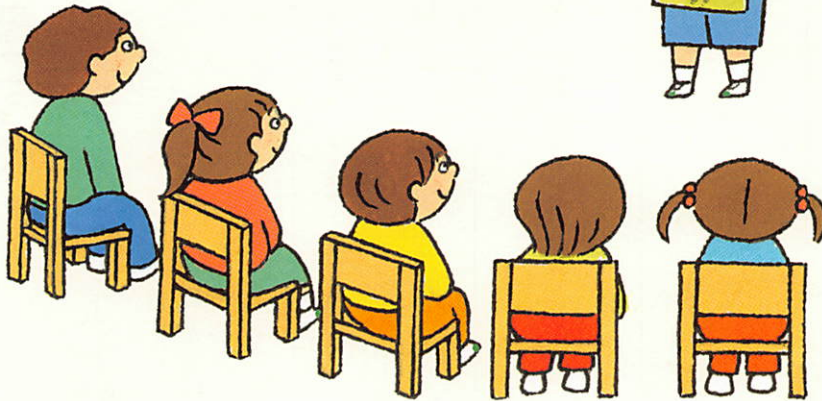
ぼくのお気に入りの本は、きたむらさとさんの「ミリーのすてきなぼうし」です。

この本には、ミリーという女の子が出てきます。ミリーは、そうぞうで、いろいろなぼうしをかぶります。

みんなが、いろいろなぼうしをかぶっていることに、ミリーが気づくところが、たのしいです。  
ぜひ、読んでみてください。

10

5



#### 本をしようかいする

- 本をしようかいするときには、つぎのようなことを話しましょう。
- 書いた人と、本のだいめい。
  - どんなとうじょうじんぶつが出てきたか。どんなお話か。
  - すきなところや、おすすめしたところ。

5



読んでみよう

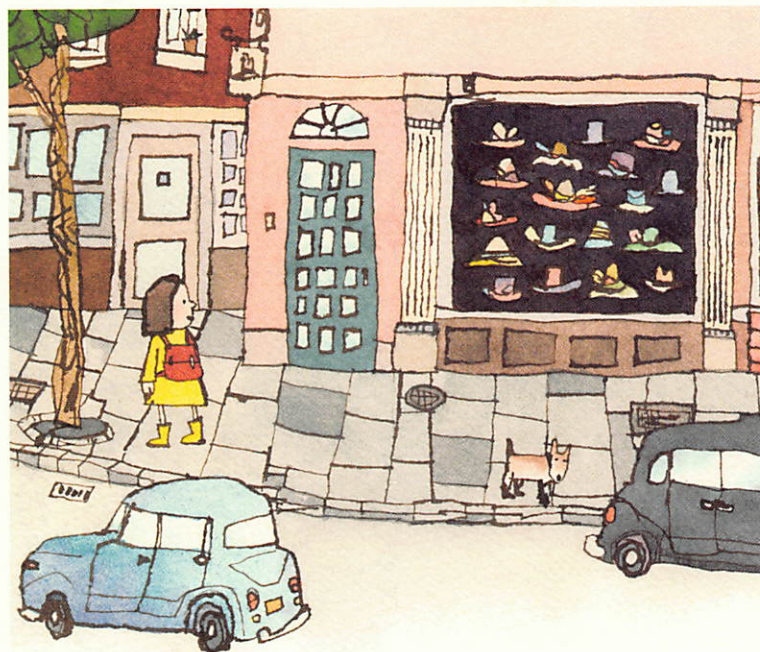


# ミリーのすてきなぼうし

きたむらさとし さく・絵

ミリーは、さんぽのとちゅう、  
ぼうしやさんの前を通りました。  
ウインドーには、たくさん ぼ  
うしがならんでいます。ミリー  
は、なかでも、色とりどりの羽  
のついた ぼうしが気に入りま  
した。

5



と  
お  
通  
る

ウインドー

店のそこから見え  
るように、しなも  
のをならべるまど  
のこと。



「羽のついたぼうしを、見せてください。」

ミリーは、店長さんにたのみました。

「はい、ただいま。」

店長さんは、さっそく、そのぼうしを

もってきてくれました。ためしてみると、

ぴったりです。

「じゃあ、これください。」

ミリーは言いました。

「かしこまりました。」

と、店長さん。

「おねだんは、九万九千九百九十九円で  
ございます。」

10

5

九万<sup>まん</sup>



ミリーは、おさいふをとり出して、中を見てみました。ちよつと足らないみたいです。

「あの、もうすこしやすいの ありますか」。

「どのくらいのおねだんのもが よろしいでしょう」。

店長さんがたずねました。

「あの——、このくらい」。

ミリーは、おさいふをひらいて見せました。中は空っぽです。

「はあ——、そのくらいですか——」。

そうつぶやくと、店長さんは、てんじょうを見上げてしまいました。

ミリーも、同じように見上げました。おもしろいもようのてんじょうです。

「あっ、あります」。

• 足<sup>た</sup>りる

——(ダッシュ)

さいごまで言い切らずに、とちゅうでとめるときなどにつかうことがある。

• 空<sup>から</sup>っぽ



店長さんは、とつぜん、大きなこえで言いました。

「ちょうどよいのが、一つありました。

しようしようおまちください。」

そう言うと、お店のうらの方に 行って  
しまいました。

しばらくすると、店長さんは、はこを  
手にして もどってきました。そして、  
テーブルにおくと、ふたをとりました。

「これは、とくべつなぼうしです。」

店長さんは言いました。

「大きさも形も色も、じゆうじぎい。



おきやくさまのそうぞうしだいで　どんなぼうしにもなる、すばらしいぼうしです。」

店長さんは、しんちように　ぼうしをはこからとり出すと、ミリーの頭にのせました。ぴったりです。とっってもいいかんじです。

「じゃあ、これにしますわ。」

そう言うと、ミリーは、おさいふのなかみを　ぜんぶ手にとり、店長さんにわたしました。

「ありがとうございます。」

と、店長さんはおじぎをしました。

「はこに入れて　おつつみしますか。」

「いいえ、このままかぶっていくから、けっこうです。」

と、ミリーはこたえて、お店を出ました。

ミリーは、あたらしいぼうしが 気に入りました。

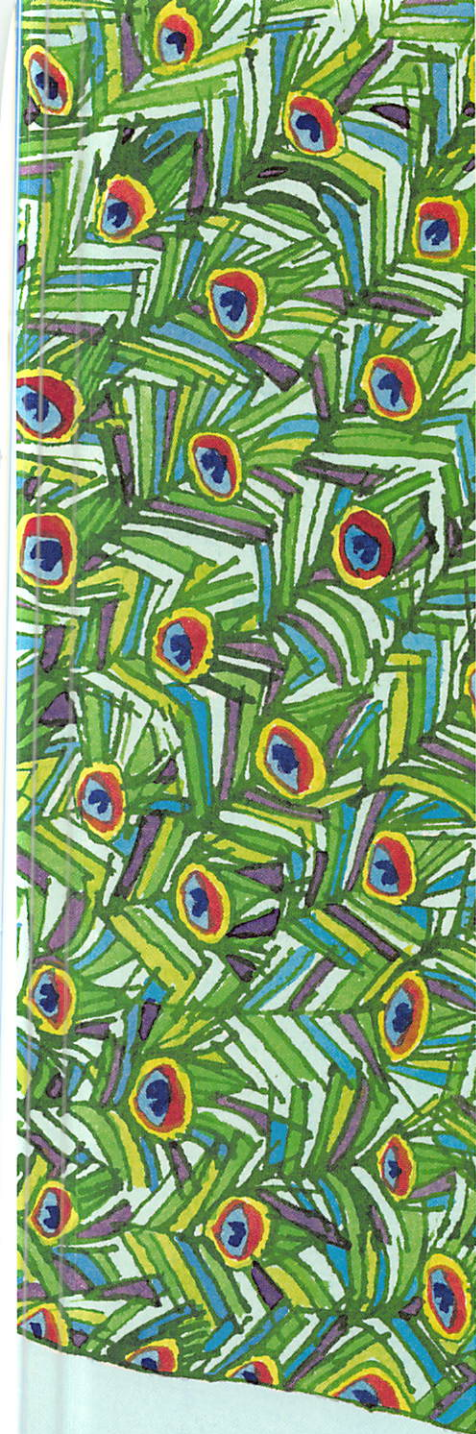
「でも、なにかそうぞうしなくちゃ。」

ミリーは思いました。

「じゃないと、ぼうしの形が見えないもの。どんなぼうしにしようかな——。そうだ、お店にあった いろんな色の羽の ぼうし。

あんなぼうし——。でもね、もっともっと たくさん羽がついてるの。」

そう、クジャクのぼうし。









ケーキやさんの前を通ったら、おいしそうなケーキが いっぱい  
ならんでいました。ミリーは、そうぞうしました。すると、ぼうしは、  
ケーキのぼうしになりました。

花やさんを通りすぎたとき、ミリーのぼうしは、花でいっぱい  
ぼうしになりました。

公園では、ふんすいのぼうしです。

そのときです。ミリーは、気がつきました。ぼうしをかぶっている  
のは、じぶんだけじゃないんだと。みんな、ぼうしをもっていたのです。  
そのどれもが、それぞれちがったぼうしでした。







おこうから、おばあさんがやってきました。おばあさんのぼうしは、くらくてさびしい水たまりでした。ミリーがおばあさんにほほえみかけると、ミリーのぼうしの中から 鳥や魚がとび出して、おばあさんのぼうしにとびうつりました。

ミリーはうれしくなって、うたをうたいました。すると、ぼうしもいっしょにうたいました。



。鳥とり







そうしてミリーは、いえにもどりま  
した。でも、ぼうしが大きくなりすぎ  
て、中に入れません。ミリーは、ちがっ  
たぼうしを そうぞうしてみました。

ミリーは、いえに入ると言いました。

「ママ、わたしのあたらしいぼうし、  
見て。きれいでしょ。」

「あたらしいぼうし。」

ママは、ちょっとびっくりしています。

だって、ぼうしなんかどこにも――。

でも、ママは、こう こたえることに  
しました。

10

5

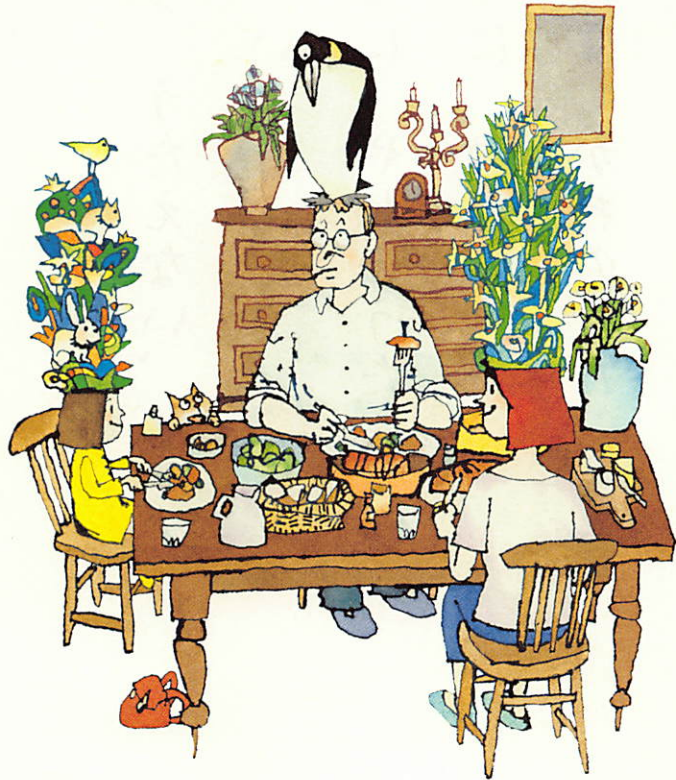




「まあ、すてきね。ママも、  
 そんなぼうし、ほしいな。」  
 「ママだってもってるのよ、  
 ほんとうは。そうぞうす  
 ればいいの。」  
 と、ミリー。

そうです。だれだつて  
 もっているのです。じぶん  
 だけのすてきなぼうしを。

5



きたむらさとし  
 さんは、「ぼくネコ  
 になる」「わたし  
 のゆたんぼ」など  
 も書いています。

公 公 公 公 公  
 園 園 園 園 園 園 園 園

公園 こうえん

通 通 通 通 通 通 通 通  
 万 万 万 万 万 万 万 万  
 通 通 通 通 通 通 通 通  
 通 通 通 通 通 通 通 通  
 九 万 まん

頭 頭 頭 頭 頭 頭 頭 頭  
 鳥 鳥 鳥 鳥 鳥 鳥 鳥 鳥  
 頭 あたま



しを たのしもう

# 雨のうた

つるみ まさお

あめは ひとりじゃ うたえない、  
きつと だれかと いっしょだよ。

やねと いっしょに やねのうた

つちと いっしょに つちのうた

かわと いっしょに かわのうた

はなと いっしょに はなのうた。



あめは だれとも なかよしで、  
どんな うたでも しってるよ。

やねで とんとん やねのうた  
つちで ぴちぴち つちのうた  
かわで つんつん かわのうた  
はなで しとしと はなのうた。



たいわのれんしゅう

ことばでみちあんない



みどりさんが、はるかさんに、まちあわせのばしよを でんわでれんらくしています。

「公園の入り口を入って、まっすぐ行ったらバラ園があるよ。しばらく行ったら右にまがって。そこにあるベンチでまっているね。」

はるかさんは、みどりさんに会えるでしょうか。



1 みどりさんのあんないのしかたで、分かりにくいところはありますか。わけといっしょに話しましょう。

2 ちずの中から、まちあわせのばしよをきめて、友だちにみちあんないをしましょう。聞く人は、ちずを見ないで、メモをとりながら聞きましょう。

まちあわせのばしよは、ふんすいの近くのベンチです。  
 ぜんぶで二回まがります。まず、入り口からまっすぐにすすみます。一つ目のトイレをすぎたら、すぐ右にまがります。



5

3 聞いた人は、メモとちずを見て、あんないされたとおりに行けるかを たしかめましょう。

ふんすいの近くのベンチ  
 まがるのは二回  
 ・一つ目のトイレを  
 すぎたら右  
 ・十字ろを右

・はじめに、あんないするばしよを言う。  
 ・通るみちのじゆんに せつめいする。  
 ・まがるところやほうこう、目じるしになるものを、はつきりと言う。

いえから学校までのみちじゆんなどを、友だちと話してもいいですね。



5

10





# かん字の ひろば

1年生で  
ならったかん字

## 2

絵の中の ことばをつかって、  
できごとを、日記を書くように書きましよう。  
へれい〜月曜日、花だんの草とりをしました。  
あつくて、とてもたいへんでした。







読む

読んで考えたことを 話そう

# どうぶつ園のじゅうい

4

「どうぶつ園のじゅうい」は、じゅういさんのしごとについて 書かれた文しょうです。いつ、どんなしごとをしているのでしょうか。

これまでのがくしゅう



せつめいする 文しょうを 読む  
(たんぽぽの ちえ) .....

50 ページ



# どうぶつ園のじゅうい

うえだ みや文 そしき だいすけ 絵

わたしは、どうぶつ園ではたらいっている じゅういです。

わたしのしごとは、どうぶつたちが 元気にくらせるように  
することです。どうぶつが びょうきやけがを したとき  
には、ちりょうをします。ある日の わたしのしごとのことを  
書いてみましょう。

朝、わたしのしごとは、どうぶつ園の中を 見回ることか  
らはじまります。なぜかというと、元気なときの どうぶつ

5

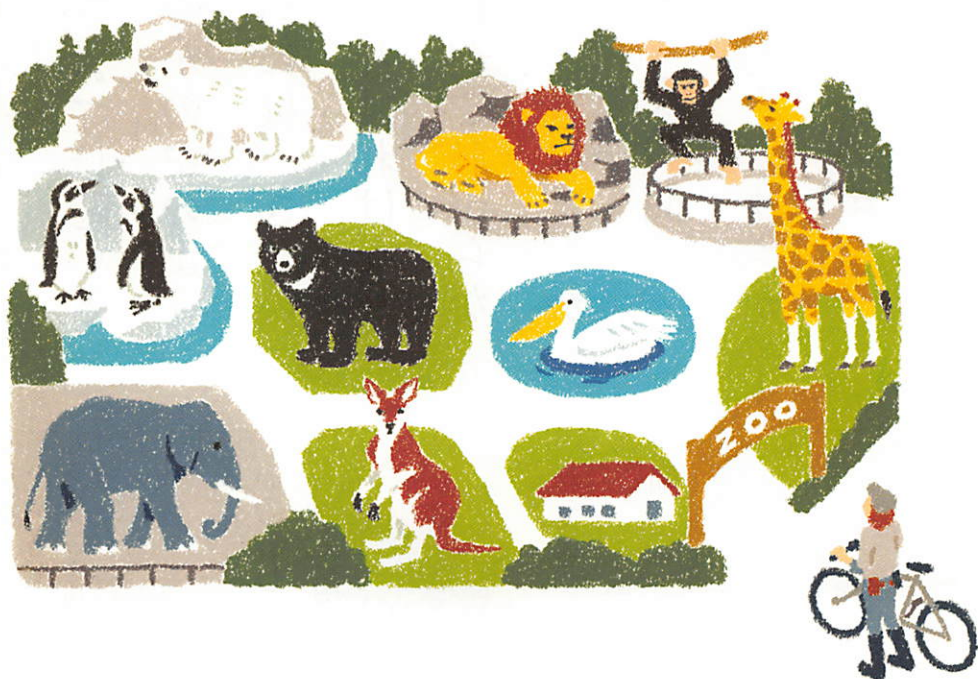
○家 いえ   ○毎 まい日   ●大 たい切 せつ   ○顔 かお   ●見 まわ回 る   ○朝 あさ



のようすを見ておくと、びょうきになったとき、すぐに気づくことができるからです。また、ふだんからわたしの顔を見せて、なれてもらおうという大切なりゆうもありません。どうぶつたちは、よく知らない人には、いたいところや つらいところをかくします。そこで、わたしの顔をおぼえてもらって、あんしんして 見せてくれるようにするのです。毎日、「おはよう。」と言いなから 家の中へ入り、こえもおぼえてもらおうように しています。

10

5





見回りがおわるころ、しいくいんさんによばれました。

いのししのおなかに 赤ちゃんがいるかどうか、みてほしいと

いうのです。おなかの中のように

すを さぐるためには、きかい

を おなかに当てなければなり

ません。いのししがこわがらな

いように、しいくいんさんが

えさをたべさせ、その間に、

そつと当ててみました。まちが

いありません。おなかの中に、

赤ちゃんがいました。

10

5

しいくいん  
どうぶつのへやを  
そうじしたり、え  
さをやったりする  
人。

いのしし



○当てる

○間あいだ



お昼前に、どうぶつ園の中にある びょういんにもどりま  
 した。すると、けがをしたにほんざるが くすりをのまない  
 しいくいんさんがこまっています。にほんざるは、にがい  
 あじが大きいです。えさの  
 中に くすりを入れて のませ  
 ようとしても、すぐに気づかれ  
 ました。くすりをこなにして、  
 半分に切ったバナナに はさん  
 でわたしました。すると、くす  
 りのところだけをよけて、たべ  
 てしまいました。こなをはちみ

10

5



○お昼<sup>ひる</sup>

にほんざる



○半分<sup>はんぶん</sup>

つにまぜたら、やっと、いっしょにのみこんでくれました。

お昼すぎには、ワラビーの家に行きました。はぐきはれ  
ているワラビーが見つかったので、きょう、ちりょうをする

ことになっていたので。この

ワラビーは、はがぬけかわるとき

にばいきんが入って、はぐきが

はれてしまいました。はぐきの

ちりょうは とてもいたので、

あばれることがあります。三人の

しいくいんさんにおさえてもらっ

て、ちりょうをしました。

10

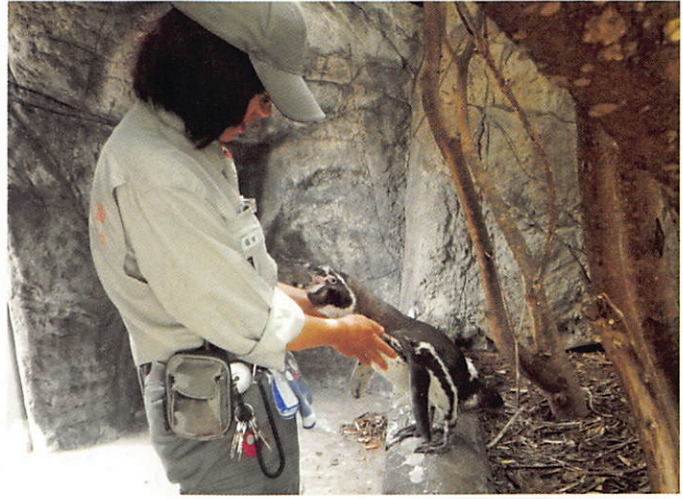
5



ワラビー







夕方、しいくいんさんから 電

話がかかってきました。ペンギン  
が、ボールペンをのみこんでし  
まったというのです。ペンギンは、  
水中で魚をつかまえて、丸ごと  
のむので、えさとまちがえたので  
しょう。いのちにかかわる たい  
へんなことです。大いそぎでくす

りをのませて はかせると、ボールペンが出てきました。

早めに手当てができたので、ペンギンは、その後すぐに 元気  
になりました。ひとあんしんです。

電話

ペンギン



後

ペンギン





になるものが ついていゝることが あります。だから、どう  
ぶつにさわった後は、それを どうぶつ園の外に もち出さ  
ないために、おふろで 体をあらわなければいけないのです。  
これで、ようやく 長い一日がおわります。



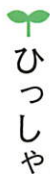
○外そと



見通しをもとう

## 読んで考えたことを 話そう

- ・ じかんをあらわすことばに 気をつけて、読みましょう。
- ・ 考えたことや、気づいたことを話しましょう。



ひっしや  
文しょうを書いた  
人のこと。

155ページ

## とらえよう

● ひっしやは、いつ、どんなしごとを  
しましたか。じかんのじゅんじよを  
あらわすことばに 気をつけて、たし  
かめましょう。

● ひっしやが、そのしごとを したわ  
げや、しごとをするときに くふうし  
たことを見つけましょう。

● ひっしやのしごとで、毎日すること  
と、この日にだけ したことは なん

## ふかめよう

### ノートのれい

見回りがおわるころ	朝	いつ
いのしし		どつどつの名前
いきかいを当てた。	見回る。	ひっしやのびんご
いのししのおなか		どつどつ園を

### 話すことのれい

じゅういさんのしごとで、わた  
しがおどろいたのは、毎朝、どう

かんじたこ  
とやかんじ  
たわけ





### ふりかえろう

- 知る      じかんのじゅんじよに 気をつけて 読むとき、どんなことばを見つけましたか。
- 読む      ひっしゃのしごとを、じぶんの知っている どんなこととくらべましたか。
- つなぐ      友だちが 読んで考えたことを 聞いて、どう思いましたか。

### ひろげよう

● ノートに書いたことを、グループで話しましょう。

### まとめよう

- しごとの中で、つぎのようにかんじたものは ありましたか。
- はじめて知って おどろいたこと。
- もっと知りたいこと。
- みの回りのこととくらべて 考えたことを、ノートに書きましょう。

ですか。

5

ぶつに あいさつをしていることです。どうしてかというと、わたしは、学校のうさぎに あいさつをしたことが なかったからです。じゅういさんは、どうぶつに顔とこえを おぼえてもらえるように、毎日、あいさつをしています。この前、学校のうさぎに 近づいたとき、うさぎは わたしからにげてしまいました。あしたからは、じゅういさんのように、毎朝 あいさつをして、うさぎとなかよくなりたいです。

10

5

考えたこと  
や気づいた  
こと

ひっしゃの  
しごとの  
ようす



たいせつ  
読んで、考えをもつ

● だれがなにをしたかや、なにがあつたかを、じゅんじよに気をつけて 読む。  
● 読んで分かったことと、じぶんの知っていることを くらべる。

朝 朝朝朝朝朝朝朝 朝  
顔 顔顔顔顔顔顔 顔  
毎 毎毎毎毎毎 毎日  
家 家家家家家家 家

当 当当当当当 当てる  
間 間間間間間間 間  
昼 昼昼昼昼昼 お昼  
半 半半半半半 半分

電 電電電電電電電 電話  
外 外外外外外 外

5



動物園のひみつ



めざせ!  
動物のお医者さん



みんなわくわく  
水族館

この本、読もう  
生きもののせわをする しごとを  
している人について 書かれた本  
です。





ことば

ことばあそびをしよう

「あいうえお」や「あかさたな」をつかって、文をつくりましょう。

あいうえお

④ ありがとう、

③ いけに

② ういっている。

① えだにのって

① おでかけだ。



あかさたな

④ あしかは、

③ かんがえている。

② さつき

① たべたのは

① なんだったつけ、と。



声に出して、楽しみましょう。

■ 数えことば・数えうた

ひい ふう みい よう

いつ むう なな やあ

ここのつ とお

5



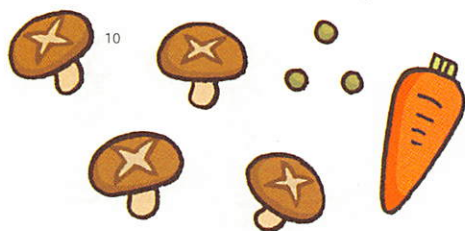
いちじく にんじん

さんしょに しいたけ

ごぼうに おかごに

ななくさ はつたけ

きゅうりに とうがん



10

■ ことばあそびうた

ことこ

このこのこのこ

どこのこのこ

このこのこのこ

5

たけのこきれぬ

そのこのそのそ

そのこのそのこ

そのこのそのおの

きのこもきれぬ

10

たにかわしゅんたろう

○ 声 こえ  
○ 楽 たのしむ





ふるくからつたわるものに 親しみましょう。

■ いろはうた

いろはにほへと

ちりぬるを

わかよたれそ

つねならむ

うゐのおくやま

けふこえて

あさきゆめみし

ゑひもせす

10

5

四十七文字のひらがなが、一回ずつつかわれています。声に出して 読んでみましょう。

■ ちいきのかるた



ちいきの、ゆうめいなところやもの、人などを とり上げています。

○ 親したむ



親 楽 声  
親親親親親親親親 楽楽楽楽楽楽楽楽 声  
親したむ 楽たのむ 声こえ




ことば



なかまのことばとかん字

なかまのことばとかん字を、いっしょにおぼえましょう。

家の人

母   父 親

姉    兄 子

妹   弟




わたし

お金

一万円 千円 百円 十円 一円

一日

夜 昼 朝

午後 正午 午前

- 夜よる
- 午後ご
- 午前ぜん
- 弟おとうと
- 兄あに
- 母はは
- 父ちち
- 親おや



父 父父父父 父ちち  
 母 母母母母 母はは  
 兄 兄兄兄兄 兄あに

弟 弟弟弟弟弟 弟おとうと  
 午 午午午午 午ご前  
 夜 夜夜夜夜夜夜 夜よる

国 国国国国国国 国語こくご  
 語 語語語語語語 語  
 算 算算算算算算 算数さんすう

▼ どうぶつの名前や、うごきをあらわすことばなど、なかまのことばを  
 あつめましょう。かん字をつかって書けるものは、かん字で書きましょう。

教科か

	音楽		国語
	ずこう		算数
	体育 <small>いく</small>		せいかつ

色

	黒		黄		赤
	白		青		

天気

	くもり		晴れ
	雪		雨

- 体たい育いく
- 音おん楽がく
- 算さん数すう
- 国こく語ご

「ことばのたから  
 ばこ」  
 ↓  
 153 ページ



# かん字の ひろば

1年生で  
ならったかん字

## 3



絵の中の 学校のようなすを 書きましよう。

「は」や「を」を 正しくつかいましよう。

〈れい〉 こうもんの近くで、1年生が友だちを

まっています。





# がくしゅうを ひろげよう



- 「たいせつ」のまとめ……………134
- 知りたいことの見つけ方、しらべ方……………138
- ひらがなとかたかな……………140
- 本のせかいを広げよう……………141
- いなばの 白うさぎ なかがわりえこ……………144
- これまでに ならった かん字……………148
- この 本で ならう かん字……………150
- ことばのたからばこ……………153



# 「たいせつ」のまとめ

- この本でがくしゅうする、大切なことを、まとめています。
- たしかめたり、ほかのがくしゅうで、つかったりしましょう。
- できるようになったことを、くうらんに書きましょう。

だいじなことをおとさずに、話したり聞いたりする



37ページ

- だいじなことはなにかを かんがえて話す。

- 聞くときは、だいじなことをおとさないように、メモをとる。

しつもんをして、あいての考えをひき出す



89ページ

- あいての考えを くわしく聞くために、だいじなことは なにかを考えて、しつもんする。

- ていねいな言い方と、ふつうの言い方の どちらをつかうとよいか、考える。

10

5



学んだことをいかそう

- 先生や、友だちの話を 聞くとき。

- 友だちと話して、考えていることを もっとくわしくするとき。

できるようになったこと〈話す・聞く〉



5



## 日記きに書くこと

 32ページ

- したこと
- 見たこと、見つけたもの
- 言ったこと、きいたこと
- 思ったことおも

## かんさつしたことを書く

 57ページ

- 見たり、さわったり、においをかいだりして、ていねいにかんさつする。
- かんさつしたことを、くわしく書く。

## 組み立てくをを考えて書く

 84ページ

- 「はじめ」に、なにを知らしせたいかを書く。
- 「中」に、知らせたいことを、くわしく書く。
- 「おわり」に、まとめのことはを書く。

10

5



## 学まなんだことをいかそう

- 生活せいかつの時間じかんなど、がくしゅうの中で、何かなにを書くとき。
- ふだん、日記や手紙がみを書くとき。

できるようになったこと〈書く〉



5



せつめいする文しよを **読むとき**

せつめいする文しよを **読む**

50 ページ

せつめいする文しよを **読む**ときは、つぎのことに **気**をつける。

● **じゆんじよ**

● **わけ**

**読んで、考えをもつ**

126 ページ

● **だれがなにを**したかや、**なにが**あったかを、

**じゆんじよ**に**気**をつけて **読む**。

● **読んで**分かったことと、**じぶんの** **知っている**

ことを **くらべる**。

**お話を読むとき**

**おはなし**をたしかめる

26 ページ

● **どうじよ**じゆんぶつをたしかめる。

10

5

**学んだことをいかそう**

● **時間**の**じゆんじよ**にそつてかわつていく **もの**のことをたしかめるとき。

● **文**しよを**読んで**、**新しく**知つたことは **何か**を **考える**とき。

5

できるよになつたこと

〈せつめいする文しよを**読む**〉





●とうじょうじんぶつがしたことや、言ったことがわかることばを見つける。

●絵にかかれてあることを手がかりにする。

### あらすじをまとめる

76ページ

●じんぶつがしたことやできごとを、みじかいことばで書く。

●書いたものを、お話のじゆんにつなげる。

### 本をしようかいする

96ページ

本をしようかいするときは、つぎのようなことを話す。

●書いた人と、本のだいめい。

●どんなとうじょうじんぶつが出てきたか。どんなお話か。

●すきなところや、おすすめしたいところ。



学んだことをいかそう

- 読んだお話のないように、だれかに知らせるとき。
- お話を読んで、思ったことをつたえ合うとき。

できるようになったこと  
(お話を読む)



# 知りたいことの見つけ方、しらべ方

## きめよう

### 1 知りたいことを見つけよう

① みの回りまわりで、見たものや 聞きいたことを 思おもい出す。

- 帰り道かえみちで、バッタを見つけた。
- ひまわりがさいていた。
- ひこうき雲くもを見た。

② その中から、くわしく知りたいことを えらぶ。

5



## あつめよう

### 3 しらべよう

本よを読よむ



「図書館かたたんのけん」  
どこにあるんだろう。

「図書館かたたんのけん」  
28 ページ

かんさつする



とぶときに、後ろうしろあしがうごいている。どのようようにうごいているのかな。

「かんさつ名人めいじんになろう」  
52 ページ



バッタについて知りたいな。



## 2 しらべることをきめよう

• 大きさ

• 色 いろ

• 形 かたち

• 数 かず

• うごき

• におい

• 音

• さわったかんじ

など

〈れい〉

バッタは、どれぐらいとべるのか。  
バッタは、どのようにうごくのか。

メモをとる



気づいたことを、  
どうやってメモしたら  
いいだろう。

「メモをとる とき」  
78ページ

「じゅんじょ」  
51ページ

せいりする



じゅんじょに気をつ  
けて、まとめておこう。

よし。これでバッタの  
とぶぎよりと、とび方が  
わかった。



# ひらがなとかたかな

ぱばだざが  
 ぴびぢじぎ  
 ぷぶづずぐ  
 ぺべでぜげ  
 ぽぽどぞご

15

すうじ  
 〈のばす音〉  
 きつて  
 〈つまる音おん〉

んわらやまはなたさかあ  
 (い)り(い)みひにちしきい  
 (う)るゆむふぬつすくう  
 (え)れ(え)めへねてせけえ  
 をろよもほのとそこお

10

5

ぴびじぎりみひにちしき  
 やややややややや  
 ぴびじぎりみひにちしき  
 ゆゆゆゆゆゆゆゆ  
 ぴびじぎりみひにちしき  
 よよよよよよよよ

15

10

5

パバダザガ  
 ピビヂジギ  
 プブツズグ  
 ペベデゼゲ  
 ポボドゾゴ

15

スー  
 〈のばす音〉  
 カッ  
 〈つまる音〉

ンワラヤマハナタサカア  
 (イ)リ(イ)ミヒニチシキイ  
 (ウ)ルユムフヌツスクウ  
 (エ)レ(エ)メヘネテセケエ  
 ヲロヨモホノトソコオ

10

5

ピビジギリミヒニチャキヤ  
 ヤヤヤヤヤヤヤヤ  
 ピビジギリミヒニチュキュ  
 ュュュュュュュュュ  
 ピビジギリミヒニチヨキヨ

15

10

5

・たてに読んだり、よこに読んだりしましょう。  
 ・書きまちがえやすい字がないか、たしかめましょう。



# 本のせかいを ひろげよう



かえるをのんだ  
ひのかずなりさいわ

ととさん

さいとう たかお 絵

## お話・絵本



はらがいたかったととさん  
んは、お寺のおしようさんの  
言うとおりに、つぎつぎ  
とものをのみみました。  
どうなってしまうでしょう  
うか。

おおきな  
きがほしい

さとう さとる 文  
むらかみ つとむ 絵



木の上で作ったこやで、  
ホットケーキをやいて食べ  
る。木には、りすや鳥もす  
んでいる。そんな大きな木  
がほしいと思いませんか。

けんかのきもち

しばた あいこ 文  
いとう ひでお 絵



たいは、いちばんの友だ  
ちのこうたとけんかをして  
しまいました。なくても、  
気もちは晴れません。

テスの木

ジェス・M・ブローヤー 文  
ピーター・H・レイノルズ 絵  
なががわ ちひろ やく



いつも大きな木の下であ  
そぶテス。でも、大すきな  
その木とおわかれするとき  
がやってきます。

はじめての  
キャンプ

はやし あきこ 文・絵



大きい子たちにまじって、  
キャンプに行くことになっ  
たなほちゃん。わくわく、  
どきどき、はじめてのキャ  
ンプがはじまります。

しっばいに  
かんばい!

みやかわ ひろ 作  
こいずみ るみこ 絵



達也のおねえちゃんは、  
うんどう会のリレーでしっ  
ばいしてしまい、がっかり  
でも、しっばいはだれにで  
もあるのです。

ガラスのうま

そや きよし 作  
はやし あきこ 絵



ガラスでできた馬の足を  
おってしまったすぐり。足  
をテープでくっつけると、  
馬はガラス山へ走りだして  
しまいました。

ありの  
フェルダ

オンドジェイ・セコラ 作・絵  
せきざわ あきこ やく



ありのフェルダは、よう  
きていたずらが大好き。ほ  
ら、きょうもおもしろいこ  
とはないだらうかとさがし  
ていますよ。

しぜん・ちしき

「さかなのたまご」



うちやまりゅうしゃしん・文  
タナゴは貝の中に、ナマズは水たまりにたまごをうみます。魚たちは、あの手この手でたまごをまもります。

「てのひらかいじゅう」



まつはしとしみつしゃしん・文  
ギヤースツ。ガオーツ。かいじゅうだ。あれれ、本当は、にわで見つけたてのひらかいじゅうです。

「やさいはいきている」



にんじんのきれはしを、水を入れたさらにおいたら、何か出てきました。ほかのやさいではどうなるのでしょうか。

「こんなしっぽでなにをするの？」



ステイブージェンキングズ・ロビンIIページ作  
さとう みかむやく

どうぶつは、自分のなや耳、しっぽをいろいろなことにつかいます。どうぶつのせかいをのぞいてみましょうか。

「ライフタイムいきものたちの一生と数字」



ローラII MII シェーフアー文  
クリストファーII サイラスII ニール 絵  
ふくおか しんいちやく

一生の間にキツキがあるけるあなの数や、キリンの体のあみめの数、いくつあるか、しらべてみましょう。

「さとうとしお」



白くてよくにている、さとうとしお。二つをくらべて、ちがうところを見つけましょう。

「単位がわかる」



「リットルのえほん」

ちゅうしゃき、プール、ちきゅうの海水など、いろいろな水のりょう(かさ)をくらべてみましょう。

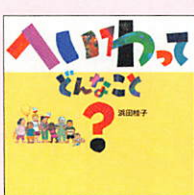
「かげ」



たちばな あいこしどう

同じものかげでも、時間(か)がたつと長さやむきかわります。ふしぎなかげで、楽しくあそんでみましょう。

「へいわってどんなこと？」



はまだ けいこ

「せんそうをしない。ばくだんなんかおとさない。」これだけがへいわということなのでしようか。



## 詩・ことば



ことばのことばは、おもしろいことば、おかしなことば、いろいろなことばが、いっぱいつまっています。

ことばのことば

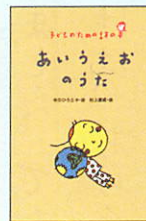
わたまこと



いらっしやい、どの店にもなぜなぜがありますよ。答えは絵をよく見ながら、考えましょう。

なぜなぜのみせ

いしづ ちひろ  
なかがわくみこ 絵



「あ」から「ん」まで、五十音ではじまる楽しい詩がいっぱいです。みなさんも作ってみたいくなりますよ。

あいうえおのうた

なかがわひろたか 詩  
むらかみやすなり 絵

## 人形げき

紙人形などを作って、好きなお話をげきにしましょう。



## お話クイズ

みんなで読んだことのあるお話で、まちがいさがしクイズを作りましょう。

「れい」ミリーのすてきなぼうし」

今から話すところには、まちがいが一つあります。見つけてください。「花やさんを通りすぎたとき、ミリーのぼうしは、鳥でいつぱいのぼうしになりました。」



## 絵をくらべて読もう

同じお話でも、絵がちがうとお話のかんじ方がかわります。読みくらべて、そのちがいを楽しみましょう。

「れい」



読み終わった本には、□にしろしをつけましょう。



「聞いて たのしもう」(38・39ページ)で  
 読んでもらったお話です。ほかに、どのような  
 楽しみ方があるでしょう。

もういちど、だれかに  
 読んでもらいたいな。



自分で読んで  
 みようかな。



こんどは、だれかに  
 読んであげたいな。



# いなばの 白うさぎ

なかがわりえこ文

むかし、むかし、大むかし。

いずもの国に、八十人ものかみさまの  
 兄弟がいました。そして、自分こそ、国を  
 おさめるのにふさわしいと、たがいに力を

きそい合っていました。でも、すえっ子の  
 オオクニヌシだけは、あらそうことをこの  
 みませんでした。兄さんたちは、弟をいく  
 じなしとわらい、しごとを言いつけては、



こきつかいました。

さて、ある日、兄さんたちは、きれいな  
おひめさまをおよめにもらおうと、いなば  
の国へむかいました。たびのにもつは、大  
きなふくろにつめて、オオクニヌシにかつ  
がせました。

みがるな兄さんたちが、弟をのこしてど  
んどん行くと、けたのみさきで、赤はだか  
のうさぎがたおれていました。毛けをすっか  
りむしりとられて、ふるえています。

「これは、おもしろいうさぎだ。からかつ  
てやろう。」

と、兄さんたちは足を止めて、

「そのうさぎ、海うみに入ってしお水をあび、

つめたい風かぜに当たるとよいぞ。」

と教おしえました。

うさぎは、よろこんで海に入りました。  
ところが、しお水は体中からだにしみて、風は  
ひふをやぶきました。

あまりのいたさに、うさぎがないてい  
ると、兄さんたちの後あとからオオクニヌシが来  
て、やさしく、

「どうしたのかね。」

とききました。

うさぎは、なみだをぬぐって、話はなしはじ  
めました。

わたしは、おきのしまにすんでいました。

けたのみさきにわたってみたかったのですが、およげません。よいほうほうはないかと考えて、海にいるわに①のせなかを思いおもつきました。そこで、わにに言いました。

「われわれうさぎと、きみたちわにさんと、どっちが多いか少ないか、くらべてみないか。」

すると、わには、

「そりゃいい。しかし、どうやるのかね。」  
とききました。

「かんたんだよ。」

と、わたしは答えました。

「わにさんをぜんぶあつめて、けたのみさきまで一れつにつながつておくれ。せな

10

5

かの上を、わたしがぴよんぴよんとんで、数えよう。」

「なるほど、うさぎさんはかしこい。」

わにはなかまをよびあつめると、けたの方へ一れつにならばせました。

わたしは、わにの上を、一つ二つと数えながら、ぴよんぴよんとんで行きました。

そして、あと一歩できしにおりるといき、うれしくなって、つい、

「きみたち、だまされたね。」

と言ってしまったのです。

そのとたん、おこったわにが、大きな口をあけて、かみつきました。あつというまに、毛はすっかりおしりとられ、わたしは

10

5



赤はだかになっていました。

そこに、かみさまがおおぜいおおく通りかかって、しお水をあびて風に当たるとよいと言われました。でも、よくなるどころか、いたくなるばかりで、とてもがまんができません。

うさぎの話を聞くと、オオクニヌシは、「おお、かわいいそうに。すぐ、川の水でよくあらいなさい。それから、みずべはに生はえているがまのほをとって、まきちらし、ねころがるとよい。元もとどおりになるだろう。」

と教えました。

うさぎは川へ行って、きれいな水でしお水を洗いねいにあらいながすと、がまのほをあつめた上にねころがりました。すると、本当とうにまっ白い、ふわふわの毛の白うさぎにもどりました。

それからというもの、「オオクニヌシこそ、八十人の兄弟の中でいちばんすぐれた方かただ。」と、世よにつたわるようになりました。

① わに

ここでは、さめのこと。

なかがわりえこさんは、「くじらぐも」のさくしやです。「ぐりとぐら」なども書いています。

# これまでにならったかん字

ならった読み方で、あいいうえおじゆんにならべてあります。  
 △は、これからならう読み方。( )は、小学校ではならわぬ読み方。

石 ⑤ △せき いし (こく)	雨 ⑧ △あま あめ	足 ⑦ △あし たる たす	赤 ⑦ △あか あかい あからむ あからめる (しゃく)	青 ⑧ △あお せい (しやう)	糸 ⑥ △いと	—たしかめ —かん字 —かくすう —読み方		
王 ④ おう	円 ④ △えん まるい	上 ③ △うへ あげる あがる (のぼせる) のぼる (のぼす) △じやう	入 ② △いりる いる はいる にゆう	犬 ④ △いぬ けん	糸 ⑥ △いと	一 ① △ひとつ ひとつ		
気 ⑥ △げき	川 ③ △かわ せん	学 ⑧ △がく まなぶ	貝 ⑦ かい	花 ⑦ △はな	火 ④ △ひか	女 ③ △おんな じよ (めによう)	男 ⑦ △おとこ だん なん	音 ⑨ △おと ね (いん)
先 ⑥ △せん さき	校 ⑩ こう	五 ④ △ご いっつ	子 ③ △しこ	月 ④ △がつ つぎ	口 ③ △くち こう	草 ⑨ △くさ そう	金 ⑧ △かね きん かな	九 ② △きゆう このつ
十 ② △と じゅう とお	車 ⑦ △くるま しゃ	七 ② △しち なな ななつ なの	下 ③ △か おろす おろす	字 ⑥ △あじ	四 ⑤ △よん よつ よつ	三 ③ △さん みつ みつ		
空 ⑧ △から あく あける	千 ③ △せん そら	生 ⑤ △せい うまれる うむ	水 ④ △みず	白 ⑤ △しろ しろい はく (びやく)	正 ⑤ △ただしい せい ただす	中 ④ △なか ちゆう ちゆう		
手 ④ △て (た)	力 ② △ちから ちから ちやく	小 ③ △ちいさい せう ちいさい	玉 ⑤ △たま	立 ⑤ △たつ たつ たてる (りゆう)	竹 ⑥ △たけ	大 ③ △だい おおき おおい おおいに	田 ⑤ △でん	









59	同じ かん字	56	56	131 54	131	53	95 53	53	かんさつ名人に なろう	47
今 4画		同 6画	近 7画	体 7画	数 13画	長 8画	形 7画		多 6画	
いま	ぶぶんを もつ	おなじ	ちかい	からだ たい	かず かぞえる すう	ながい ちよう	かたち		おおい	
今から 行く		同じ におい	いえが 近い	体が のびる 体育	数を 数える 百まで 算数	長さ をはかる 店長	まるい 形		人が 多い	

59	59	59	59	95 59	59	117	59	59	59	80 59
汽 7画	線 15画	妹 8画	姉 8画	店 8画	内 4画	切 4画	刀 2画	社 7画	会 6画	
き	せん	いもうと	あね	みせ てん	ない	きれ きる せつ	かたな (がたな)	しゃ	かい あう	
汽車	線を ひく	妹と 姉	姉と 妹	大きな 店長 店	町内	糸が 切れる かみを 切る 大切	小刀で 切る	会社	会社 出会う	

68	130 64	64	63	スイミー	61	116 61	59
元 4画	前 9画	広 5画	魚 11画		歩 8画	回 6画	海 9画
げん	ぜん まえ	ひろい ひろまる ひろめる ひろがる ひろげる	さかな		あるく	かい まわる まわす	うれしい ことば
元氣	午前 名前	ぬのを 広げる	小さな 魚		みちを 歩く	見回る こまを 回す	海が 見える

130	121 81	80	79	78	78	73	79 72	69	
後 9画	組 11画	見つけたよ こんなもの、	室 9画	考 6画	知 8画	メモをとる とき	光 6画	教 11画	岩 8画
ご あと うしろ	くむ くみ		しつ	かんがえ る	しる		ひかり ひかる	おしえる きよう	いわ
その後 その後	組み立て 二年一組		教室	よく 考える	はじめて 知る		たいようの 光 ほしが 光る	みちを 教室 教える	岩かけ

90 夏 10画	夏が いっぱい	88 雲 12画	87 羽 6画	86 友 4画	あつたらいいな、 こんなもの	85 買 12画	85 点 9画	85 丸 3画
なつ		くも	はね	とも		かう	てん	まる まるい まるめる
夏休み		雲の上	とんぼの羽	友だち		本を 買う	点と 丸	丸と 点 丸い 玉 かみを 丸める

117 毎 6画	117 顔 18画	116 朝 12画	どうぶつ園のじゅうし	106 鳥 11画	101 頭 16画	98 万 3画	97 通 10画	95 園 13画	95 公 4画	お気に入りの本を しようかいしよう ミリーのすてきなぼうし
まい	かお	あさ		とり	あたま	まん	とおる とおす	えん	こう	
毎日	顔を見せる	毎朝		鳥がとぶ	頭にのせる	一万円	店の前を通る 車を通す	公園	公園	

130 親 16画	129	131 楽 13画	128 声 7画	ことばあそびをしよう	123 外 5画	121 電 13画	119 半 5画	119 昼 9画	122 118 間 12画	118 当 6画	117 家 10画
おや		がく	こえ		そと	てん	はん	ひる	あいだ けん(げん)人間	あたる あたる	いえ
親しい人 親しい人		楽しい話 音楽	声を出す		外に出る	電話	半分	お昼	その間	手を当てる まどに当たる	家の中

131 算 14画	131 語 14画	131 国 8画	130 夜 8画	130 午 4画	130 弟 7画	130 兄 5画	130 母 5画	130 父 4画	なかまのことばとかん字
さん	ご	こく	よる	ご	おとうと	あに	はは	ちち	
算数	国語	国語	昼と夜	午前	弟と兄	兄と弟	母と父	父と母	





# ことばのたからばこ

## かんが 考えや気もちをつたえることば

できごとや見つけたこと、かんじたことを つたえる  
ときに、つかいましょう。

じんぶつを  
あらわすことば

もののようすを  
あらわすことば

かんがえ方を  
あらわすことば

あか 明るい

きれい

— みたい

ゆうきのある

めずらしい

— のよう

まえ 前むき

くわしい

— になた

げん 元気

こまかい

— と同じ

たくましい

にん 人気のある

— とちがう

いじわる

目立つ

そそっかしい

きゆうくつ

どりよく家

すばやい

ちえのある

のろのろ

よわ 気が弱い

ひっそり

### 気もちをあらわすことば

おもしろい

気に入る

— かなしい

たの 楽しい

へいき

— つまらない

わくわくする

おどろく

— くるしい

うれしい

どきどきする

— おろおろする

よろこぶ

気もちがわるい

— ざんねん

ほっとする

しんぱいする

気もちがいい

こわい

さっぱりする

さびしい

ここにあることばを  
きっかけにして、  
ことばをふやそう。



### なかまのことばをあつめよう

ここには「じんぶつをあらわすことば」や「気もちをあらわすことば」を見つけてみましょう。

「スイミー」には、  
「すばらしい」という  
ことばがあったよ。



みんなであつめて、「クラスの  
ことばのたからばこ」を作るのも  
いいですね。

# がくしゅうに用いるじゆば

## とうじょうじんぶつ (じんぶつ)

お話の中に 出てくる 人のことです。お話の中で、人のよ  
うにうごいたり、考えたりする生きものや ものも、とうじよ  
うじんぶつ (じんぶつ) といいます。

とうじょうじんぶつが言ったことや、したことを 思い  
かべながら読むと、お話のないようが よく分かります。

24ページ

## メモ

聞いたことや 考えたことなどを、せいりしたり まとめた  
りするために 書きとめることです。また、書きとめたものも、後  
メモといえます。

だいたいなことを みじかいことばで メモしておく、後  
でつたえたいことを 正しくつたえることが できます。

36ページ

## あらすじ

とうじょうじんぶつがしたことや、できごとを中心に、お話を  
みじかくまとめたものです。じんぶつがしたことを、お話の  
じゆんに みじかくまとめてつなげると、あらすじになります。  
お話を 人にしようかいるときには、あらすじをつたえ  
ると、そのお話を ぜんぶ読まなくても、だいたい どの  
ようなかが分かります。

74ページ

## 組み立て

文しよや話が、どのようなまとまりとじゆんじよで でき  
ているかと いうことです。組み立ては、「はじめ」「中」「お  
わり」という 三つのまとまりで考えると、分かりやすくなる  
ことが 多いです。

読むときは、それぞれのまとまりが 何について 書かれ  
ているかを 考えながら読むと、文しよぜんたいのない  
ようが よく分かります。

話したり書いたりする ときは、つたえたいことを まと  
まりごとにせいりして、組み立てを考えると、聞く人や  
読む人に つたわりやすくなります。

82ページ

国語のがくしゅうで、よくつかわれることばです。い  
みやつかい方をたしかめて、がくしゅうにいかしましょう。

## しつもん

分からないことや 知りたいこと、たしかめたいことなどを、  
人にきくことです。しつもんをするときは、あいての話を  
よく聞いて、かんけいのあることを たずねるようにします。

話し合うときには、おたがいに しつもんをしようとして、  
ほかの人の考えが よく分かるようになったり、みんなの  
考えが せいりされたりします。

87ページ

## ひつしや

文しよを書いた 人のことです。お話や詩などを作った  
人である「さくしや」と くべつして、せつめいする文しよ  
を書いた人を ひつしやということが あります。

## 〈れい〉

「たんぼの ちえ」のひつしやは、うえむらとしお  
さんです。

ひつしやがどんな人かを たしかめたり、ひつしやが考え  
たことに 気をつけて読んだりすると、その文しよが  
何についてせつめいしているのかが よく分かります。

124ページ

## これまでに学んだことば

### さくしや

お話や詩などを 作った人を、「さくしや」といいます。

### 〈れい〉

「れい」 「スイミー」のさくしやは、レオリレオニさんです。

### だいいめい

本や文しよに つけられた名前を、「だいいめい」とい  
います。本のだいいめいは、ひょうしに書いてあります。

### やくしや

外国語の文しよを、日本語の文しよに 直すことを、

「やくす」といいます。やくした人は、「やくしや」とい  
います。

〈れい〉「スイミー」のやくしやは、たにかわしゅんたろう  
さんです。



編集委員

甲斐陸朗 元国立国語研究所所長

高木まさき 横浜国立大学大学院教授

青山由紀 筑波大学附属小学校教諭

赤木雅宣 ノートルダム清心女子大学教諭

阿辻哲次 京都大学名誉教授

阿部 昇 秋田大学特別教授

池上 彰 ジャーナリスト

石井陸美 作家

石黒 圭 国立国語研究所教授

稲田八穂 筑紫女学園大学教授

井上一郎 前京都女子大学教授

浮田真弓 岡山大学教授

内田伸子 お茶の水女子大学名誉教授

岡田博元 お茶の水女子大学附属小学校教諭

甲斐雄一郎 筑波大学教授

鹿毛雅治 慶應義塾大学教授

桂 聖 筑波大学附属小学校教諭

茅野政徳 山梨大学教職大学院准教授

工藤直子 作家

鴻上尚史 作家・演出家

輿水かおり 前玉川大学客員教授

佐渡島紗織 早稲田大学教授

達富洋二 佐賀大学教授

田中洋一 東京女子体育大学教授

棚橋尚子 奈良教育大学教授

土山和久 大阪教育大学教授

永池啓子 横浜国立大学講師

中川一史 放送大学教授

中川李枝子 作家

中村桂子 生命誌研究館館長

長谷浩也 環太平洋大学教授

蜂飼 耳 詩人・作家

原田義則 鹿児島大学大学院准教授

藤森裕治 信州大学術研究院教授

細川太輔 東京学芸大学教職大学院准教授

三浦登志一 山形大学術研究院教授

邑上裕子 明星大学客員教授

森 篤嗣 京都外国語大学教授

森山卓郎 早稲田大学教授

吉永幸司 前京都女子大学教授

カフーユニバーサルデザインに関する校閲

市原恭代 工学院大学准教授

NPO法人カフーユニバーサルデザイン機構(CUDO)理事

特別支援教育に関する校閲

佐島 毅 筑波大学准教授

学習のユニバーサルデザインに関する校閲

小貫 悟 明星大学教授

光村図書出版株式会社編集部

アート・ディレクション/デザイン 図工室(坂 啓典/近田宏生/堀ノ内達也)  
表紙絵 大野八生 とびら詩 まど・みちお とびら絵 seesaw.  
さし絵 赤池佳江子/浅倉田美子/上垣厚子/川口澄子/河原崎秀之/斉藤みお/沢登千恵美/seesaw./芝野公二/スギヤマカナヨ  
タラジロウ/ナシエ/HamaHouse/パンチハル/三木麻郁/山田タクヒロ/ライオスタッフ 書き文字 樋口咲子  
写真 ゲッティ・イメージズ/長岡博史/よこはま動物園ズーラシア

「スライマー」

This translation published by arrangement with Random House Children's Books,  
a division of Random House LLC,  
through Japan UNI Agency, Inc., Tokyo

「ワリーのサッポロ」

MILLIE'S MARVELOUS HAT by Satoshi Kitamura Copyright © Satoshi Kitamura, 2009  
Japanese reprint rights arranged with The Andersen Press Ltd., London  
through Tuttle-Mori Agency, Inc., Tokyo

こくぐい 二 上たんぽぽ

38光村 国語207 小学校国語科用

年月 日印刷  
年月 日発行

(平成三十一年二月二十五日検定済)

定価 文部科学大臣が認可し官報で告示した定価  
(右記の定価は、各教科書取次供給所に表示  
します。)

この教科書にもとづくワークブック・解説書、  
ならびにこれに類するものの無断発行を禁じます。

ISBN978-4-138-0066-8

著作者

甲斐陸朗 ほか四十三名別記

発行者

光村図書出版株式会社

代表者 小泉 茂

東京都品川区上大崎二十九-九

印刷者

協和オフセット印刷株式会社

代表者 鴨 三津夫

東京都港区浜松町一-三十一

発行者

光村図書出版株式会社

東京都品川区上大崎二十九-九

電話 (03) 三四九三二二二 (代表)

ISBN978-4-8138-0066-8  
C4381 ¥00000E



9784813800668



1924381000000

保護者の皆様へ

この教科書は、これからの社会を生きる子どもたちが、言葉に出会う喜びや、人とつながる楽しさを実感しながら、確かな「言葉の力」を身につけることを願って編集したものです。ご家庭においても、この教科書を子どもたちと語り合うきっかけとしてご活用ください。

この教科書は、次のような配慮や工夫をしています。

- カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、全てのページについて専門家による校閲を行っています。
- 児童の学習負担を軽減するよう、本文には書き文字と差異の生じない書体を使用しています。
- 単元名や見出しには、見やすいユニバーサルデザイン書体を使用しています。
- 環境に配慮した紙、植物油インキを使用しています。

UD  
FONT

VEGETABLE  
OIL INK

この教科書では、学習の参考となる動画などの資料を小社ウェブサイトを用意し、その箇所には二次元コードを示しています。機種やインターネット環境等によってはアクセスできないことがあります。また、通信料が発生する場合があります。読み取れない場合は、下記のURLをご参照ください。



<https://m-manabi.jp/20/qr/k2j/>

この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。



光村図書

二  
年

く  
み

